

主な仕様

許容周囲温度 +5～35
 許容相対湿度 5～90 % RH (結露なきこと)
 再生可能ディスク (8 cm、12 cm)
 DVD-RAM (DVD-VR規格対応のディスク) DVD-Audio
 DVD-Video DVD-R (DVD-Video規格準拠)
 音楽用CD (CD-DA) ビデオCD
 スーパービデオCD (IEC62107準拠)
 CD-R/RW (CD-DA、ビデオCD、スーパービデオCD、
 MP3、WMA、JPEG、HighMAT レベル 2フォーマット
 のディスク)
 MP3/WMA
 -再生可能な最大トラック数：999トラック
 再生可能な最大グループ数：99 グループ
 -ビットレート：
 MP3 : 32 kbps～320 kbps
 WMA : 48 kbps～192 kbps
 JPEG
 -Exif Ver2.1 JPEGベースライン方式準拠
 -再生可能な最大画像数：3000画像
 -再生可能な最大グループ数：300グループ
 -画像解像度：320×240～6144×4096
 (サブサンプリング：4:2:2、4:2:0)
 HighMAT レベル 2 (音声、画像)
 信号形式 : NTSC

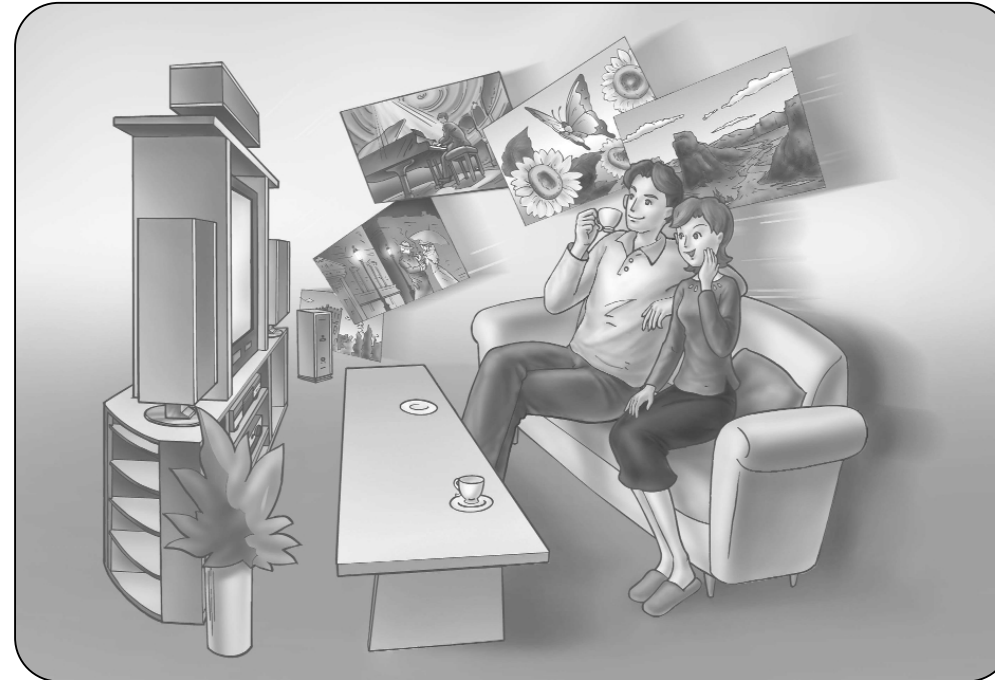
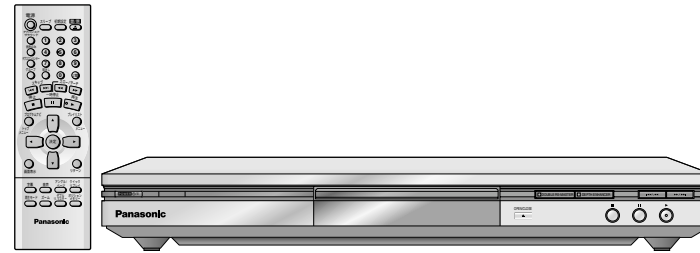
映像出力
 出力レベル : 1 Vp-p (75)
 出力端子 : ピンジャック
 端子数 : 1系統
 S映像出力
 Y出力レベル : 1 Vp-p (75)
 C出力レベル : 0.286 Vp-p (75)
 出力端子 : S端子
 端子数 : 1系統
 コンポーネント映像出力 (525P/525I)
 Y出力レベル : 1 Vp-p (75)
 P_B/C_B出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 P_R/C_R出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 出力端子 : ピンジャック
 (Y: 緑、P_B/C_B: 青、P_R/C_R: 赤)
 端子数 : 1系統
 D1/D2映像出力
 Y出力レベル : 1 Vp-p (75)
 P_B/C_B出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 P_R/C_R出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 出力端子 : D端子
 端子数 : 1系統
 音声出力
 出力レベル : 2 Vrms (1 kHz、0 dB)
 出力端子 : ピンジャック
 端子数 : 1系統
 2ch出力 : 1系統
 5.1chディスクリット出力(5.1 ch) : 1系統

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

音声出力特性
 周波数特性
 DVD(リニア音声) :
 4 Hz～22 kHz (48 kHzサンプリング)
 4 Hz～44 kHz (96 kHzサンプリング)
 DVD-Audio :
 4 Hz～88 kHz (192 kHzサンプリング)
 CD : 4 Hz～20 kHz (JEITA)
 S/N比
 CD : 115 dB (JEITA)
 ダイナミックレンジ
 DVD(リニア音声) : 102 dB
 CD : 98 dB (JEITA)
 全高調波歪率
 CD : 0.0025 % (JEITA)
 デジタル音声出力
 光デジタル出力 : 光コネクター
 同軸デジタル出力 : ピンジャック

電源 AC 100 V 50 / 60 Hz
 消費電力 12 W
 電源「スタンバイ」時 約0.6 W
 外形寸法 430(幅)×303(奥行)×52(高さ) mm
 (突起物を含む)
 質量 約2.7 kg

Panasonic DVD/CDプレイヤー DVD-S75 取扱説明書



このたびは、DVD/CDプレイヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

Panasonic®

DVD/CD プレーヤー 取扱説明書

品番 DVD-S75



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。



DVD ビデオのリージョン番号

発売地域ごとに、DVDビデオのソフトと再生可能機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。本機のリージョン番号は「2」です。「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。



など

愛情点検		長年ご使用の DVD/CD プレーヤーの点検を！	
	こんな症状はありませんか	煙が出たり、異常なおいや音がする 映像や音声が出ないことがある 正常に動作しないことがある 商品に破損した部分がある その他の異常や故障がある	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	DVD-S75
販売店名	☎ () -	お客様 ご相談窓口	☎ () -

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2003

RQT6622-S
F0303FM0

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT6622-S

ディスクについて

再生できるディスク **RAM**などは、本書内の表示です。

名称	ロゴマーク	詳細
DVD-RAM (RAM)		9.4GB/4.7GB(12 cm)と2.8GB(8 cm) カートリッジなし カートリッジ付で取出しできるもの (TYPE2、TYPE4) DVDビデオレコーダー、DVDビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格Ver.1.1 (ビデオ録画のための統一規格) で記録されたディスク
DVDオーディオ (DVD-A)		-
DVDビデオ (DVD-V)		リージョン番号「2」(または「2」を含むもの) 例) と「ALL」が表示されたディスク
DVD-R (DVD-V)		当社製DVDビデオレコーダーまたはDVDビデオカメラで録画し、ファイナライズした当社製DVD-R 「DVDビデオ」として再生できます。
ビデオCD (VCD)		スーパービデオCD (SVCD : IEC62107規格に準拠するディスク) を含む
CD (CD) (WMA) (MP3) (JPEG)		CD-RとCD-RWを含む CD-DA、ビデオCD、WMA、MP3、JPEGのいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズした音楽用CD-R/RW (詳細 15ページ)

上記ロゴマークの入ったものなど、それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

お知らせ

PAL方式で記録されたDVDオーディオの静止画は、NTSCに変換して再生します。映像を縮小して全体を表示しますが、上下に引き伸ばされた画面になることがあります。DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDの中には、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。経過時間が表示されないディスクや、メニュー画面を持ったビデオCDの場合、機能が動かない場合があります。DVD-RAM、DVD-R、SVCD、CD-R/RWは、使用するディスクや記録状態により再生できない場合があります。

RAM

カートリッジ付ディスクは使用後カートリッジに収納してください。(詳細はディスクに付属の説明書などをご参照ください)。番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。

本機はHighMAT™ディスクのWMA、MP3、JPEG再生に対応しています。HighMAT規格は、音声/画像/動画のファイルをCD-R/RWに記録するときの新しい管理フォーマットです。本機では、WMA/MP3の音楽ファイルとJPEGの画像ファイルが記録されたディスクを再生することができます。HighMATに対応したパソコンソフトでディスクを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報をつけたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。作成されたディスクでは、多彩なメニュー操作により、ファイル選択などを簡単に行うことができます。作成されたディスクは、パソコンと本機と共通で使うことができます。HighMATディスクを作るためには、Windows XPがインストールされたパソコンが必要です。(HighMAT : High performance Media Access Technology)

再生できないディスク

リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
PAL方式で記録されたディスク (DVDオーディオは再生できます)
DVD-RAM (2.6GB/5.2GB、TYPE 1)
DVD-ROM +RW DVD-RW
CD-ROM CDV CD-G
Photo-CD SACD
Chaoji VCD (超級と呼ばれている市販のSVCD、CVD、DVCDは再生できません) など

ジャケット上のマーク

イラストは例です。
画面サイズ (横 : 縦)

標準(4:3) サイズ レターボックス
4:3で上下に黒帯が入った画面

ワイド(16:9) サイズ
標準(4:3)サイズのテレビではレターボックスで再生

ワイド(16:9) サイズ
標準(4:3)サイズのテレビではパン&スカン(両側または片側が切れた画面)で再生

記録されている音声の種類
本機はドルビーデジタル / DTSの5.1チャンネルデコーダーを内蔵しているので、左記ロゴのついたディスクを再生できます。

その他

音声数 字幕数 アンゲル数



もくじ

まず 準備しよう	ディスクについて.....	2	準備① リモコン.....	7
	安全上のご注意 必ずお守りください	4	準備② テレビと接続.....	8
	付属品のご確認.....	5	高画質で楽しむ.....	8
	各部のなまえとはたらき.....	6	迫力のある音声で楽しむ.....	8
	準備③ テレビに合わせて設定.....	10	プログレッシブ映像を楽しむ.....	10

すぐ 使ってみる	ディスクを再生.....	11	コマ送り・コマ戻し.....	12
	番組・タイトル・曲を番号指定で再生.....	12	静止画を選ぶ(ページスキップ).....	12
	スロー再生.....	12	記憶させた位置から再生(ポジションメモリー機能).....	13
	早送り・早戻し(サーチ).....	12	グループを選んで再生.....	13
	番組・場面・曲を飛びこす(スキップ).....	12	画像を回転する.....	13
				見のがしたシーンをすぐ再生(クイックリプレイ).....

メニュー画面を使って再生.....	14	便利な再生方法.....	19	
	WMA/MP3/CDテキスト/JPEGの再生.....	14	すべてのグループを順に再生(オールグループ再生).....	19
	HighMATディスクの再生.....	15	好みの順に再生(プログラム再生).....	19
	RAMディスクの再生.....	15	順不同に再生(ランダム再生).....	19

映画や音楽をもっと楽しむ.....	16	絵表示(GUI画面)を使って操作.....	21	
	音声切り換え.....	16	プログレスインジケータ.....	21
	アンゲル切り換え.....	16	ディスク情報.....	22
	字幕切り換え.....	16	本機情報.....	22
	2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ(アドバンスサラウンド VSS).....	17	初期設定を変更.....	24
	より純粋な高音質で聴く(オーディオオンリー).....	17	スピーカー設定.....	27
	より自然な音質で聴く(ダブルリマスター).....	17	MDなどに録音.....	28
	映画のセリフを聞き取りやすくする(ダイアログエンハンサー).....	17		
	映像に奥行き感を出す(デプスエンハンサー).....	17		
	映像を拡大する(ズーム).....	18		
指定時間に電源を切る(スリープ).....	18			

もっと 使いこなす	メニュー画面を使って再生.....	14	Q & A (よくあるご質問).....	31
	WMA/MP3/CDテキスト/JPEGの再生.....	14	故障かな! ?.....	31
	HighMATディスクの再生.....	15	保証とアフターサービス よくお読みください	34
	RAMディスクの再生.....	15	主な仕様.....	裏表紙

もし 必要なとき	別売品のご紹介.....	28	用語解説.....	30
	プログレッシブ対応テレビ一覧.....	28		
	著作権.....	29		
	お手入れ・使用上のお願い.....	29		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
抜くときは、プラグを持ちまっすぐぬいてください。
コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。
ぬれ手禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

もし異常が起きたら

異常があったときは電源プラグを抜く

機器内部に金属や水、異物が入ったとき
煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
販売店にご相談ください。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない

接触禁止 感電の恐れがあります。

注意

設置・接続について

不安定な場所に設置しない

上に大きなもの、重いものを載せない
高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスクトレイに指を入れ、挟まらないように注意する

指に注意
閉まるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

乾電池について

乾電池は誤った使いかたをしない

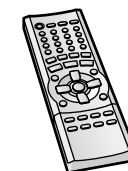
⊕と⊖は逆に入れない
新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
乾電池は充電しない
加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
ネックレスなどの金属物といっしょにしない
被覆のはがれた電池は使わない
乾電池の代用として充電式電池を使わない

長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
万一液もれが起きたら、販売店にご相談ください。
液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

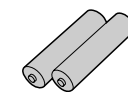
付属品のご確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
かっこ内は買い替え時の品番を表します。

リモコン(1個)
【N2QAJB000065】



リモコン用乾電池(2本)



音声/映像コード(1本)
【JAC3315N】



電源コード(1本)
【VJA0536】

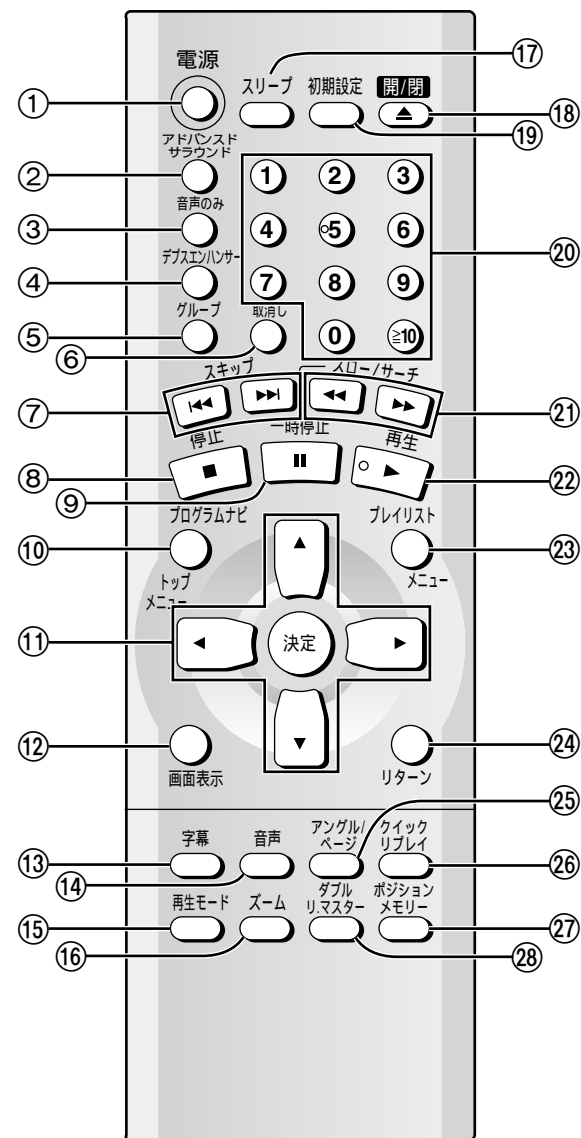


お願い
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

()内は参照ページを表しています。

リモコン

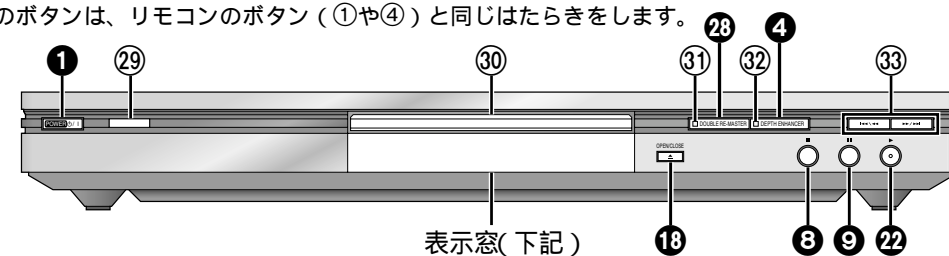


- ① [電源]ボタン(10)
- ② [アドバンスドサラウンド]ボタン(17)
音に広がりを与える
- ③ [音声のみ]ボタン(17)
映像信号の出力を停止し、高音質な音声を楽しむ
- ④ [デプスエンハンサー]ボタン(17)
映像に奥行き感を与える
- ⑤ [グループ]ボタン(13)
グループを選択する
- ⑥ [取消し]ボタン(19)
入力した数字を取り消す
- ⑦ [◀◀、▶▶、スキップ]ボタン(12)
- ⑧ [■、停止]ボタン(11)
- ⑨ [⏸、一時停止]ボタン(11)
- ⑩ [プログラムナビ、トップメニュー]ボタン(11、15)
プログラムナビ画面やディスクメニューを表示する
- ⑪ [▲、▼、◀、▶]カーソルボタン/[決定]ボタン(10)
 - ◀ ▶ — ハイライトを移動
 - 決定 — 決定する
- ⑫ [画面表示]ボタン(10、21)
GUI画面を表示する
- ⑬ [字幕]ボタン(11、16)
字幕言語やトラック情報を入/切または切り換える
- ⑭ [音声]ボタン(16)
音声を切り換える
- ⑮ [再生モード]ボタン(19)
「オールグループ再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える

- ⑯ [ズーム]ボタン(18)
映像を拡大する
- ⑰ [スリープ]ボタン(18)
指定時間に電源が切れるよう設定する
- ⑱ [▲、開/閉]ボタン(11)
- ⑲ [初期設定]ボタン(10、24)
初期設定画面を表示する
- ⑳ 数字ボタン(12)
- ㉑ [◀◀、▶▶、スロー/サーチ]ボタン(12)
- ㉒ [▶、再生]ボタン(11)
- ㉓ [プレイリスト、メニュー]ボタン(11、15)
プレイリスト画面やディスクメニューを表示する
- ㉔ [リターン]ボタン(10)
1つ前の画面に戻る
- ㉕ [アングル/ページ]ボタン(12、13、16)
アングルを切り換える
JPEG画像を回転させる
DVDオーディオの静止画を選択する
- ㉖ [クイックリプレイ]ボタン(13)
少し前の場面に戻る
- ㉗ [ポジションメモリー]ボタン(13)
再生位置を記憶する
- ㉘ [ダブルリマスター]ボタン(17)
自然で豊かな音声を楽しむ

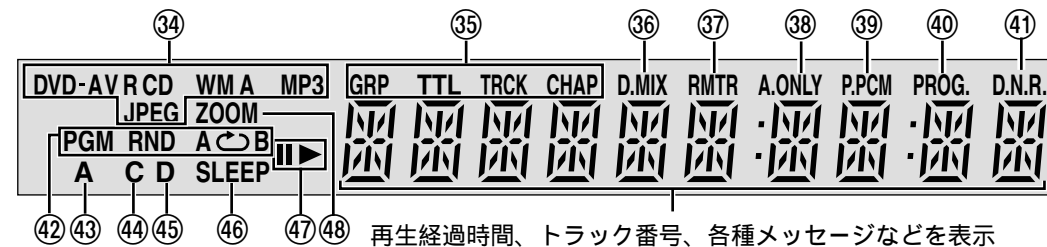
本体

①や④などのボタンは、リモコンのボタン(①や④)と同じはたらきをします。



- ⑲ リモコン受信部
- ⑳ トレイ(11)
- ㉑ [DOUBLE RE-MASTER]ランプ(17)
ダブルリマスター「入」のとき点灯
- ㉒ [DEPTH ENHANCER]ランプ(17)
デプスエンハンサー「入」のとき点灯
- ㉓ [◀◀/▶▶、▶▶/▶▶](スキップ/サーチ)ボタン(12)

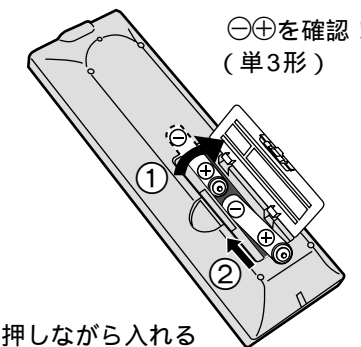
表示窓



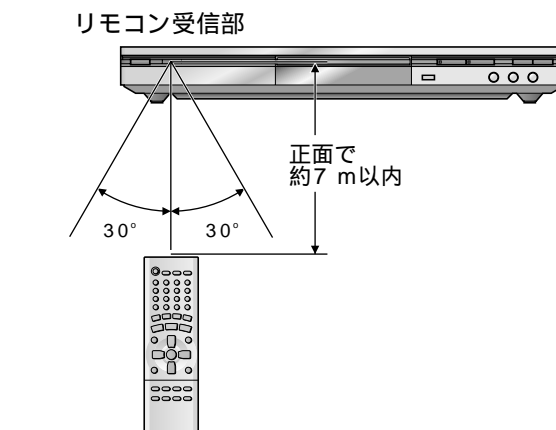
- ⑳ ディスク表示
DVD-VR : DVD-RAM
DVD-A : DVDオーディオ
DVD-V : DVDビデオ
VCD : ビデオCD
CD : 音楽CD
WMA : WMAディスク
MP3 : MP3ディスク
JPEG : JPEGディスク
- ㉑ メイン表示部の表示モード
GRP : グループ
TTL : タイトル
TRCK : トラック
CHAP : チャプター
- ㉒ D. MIX 表示
マルチチャンネル信号を2チャンネルにダウンミックス可能であることを表示
- ㉓ ダブルリマスター表示
- ㉔ オーディオオンリー(音声のみ)表示
- ㉕ P. PCM 表示
P.PCM(ひずみなく圧縮された音声フォーマット)を再生すると点灯
- ㉖ プログレッシブ出力表示
- ㉗ デプスエンハンサー表示
- ㉘ 再生状態表示
PGM : プログラム
RND : ランダム
◻ : リピート
A ◻ B : A-Bリピート
- ㉙ アドバンスドサラウンド表示
- ㉚ シネマ画質表示
- ㉛ ダイアログエンハンサー表示
- ㉜ スリープ表示
- ㉝ 再生表示
▶ : 再生
▶(点滅) : 続き再生メモリー
⏸ : 一時停止
- ㉞ ズーム表示

準備 1 2 3 リモコン

乾電池(付属)を入れる



リモコンの使用範囲



お願い
次のことをお守りください。
受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
他の機器のリモコンと同時に使わない。
受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

本体をラックに入れて使用するときは
ガラス扉の厚さや色などによって、使用範囲が短くなることがあります。

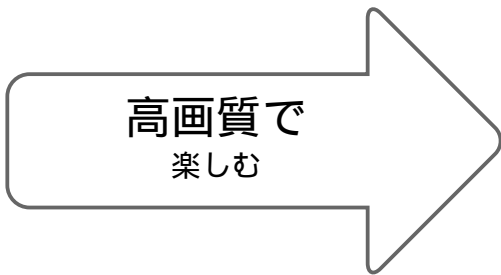
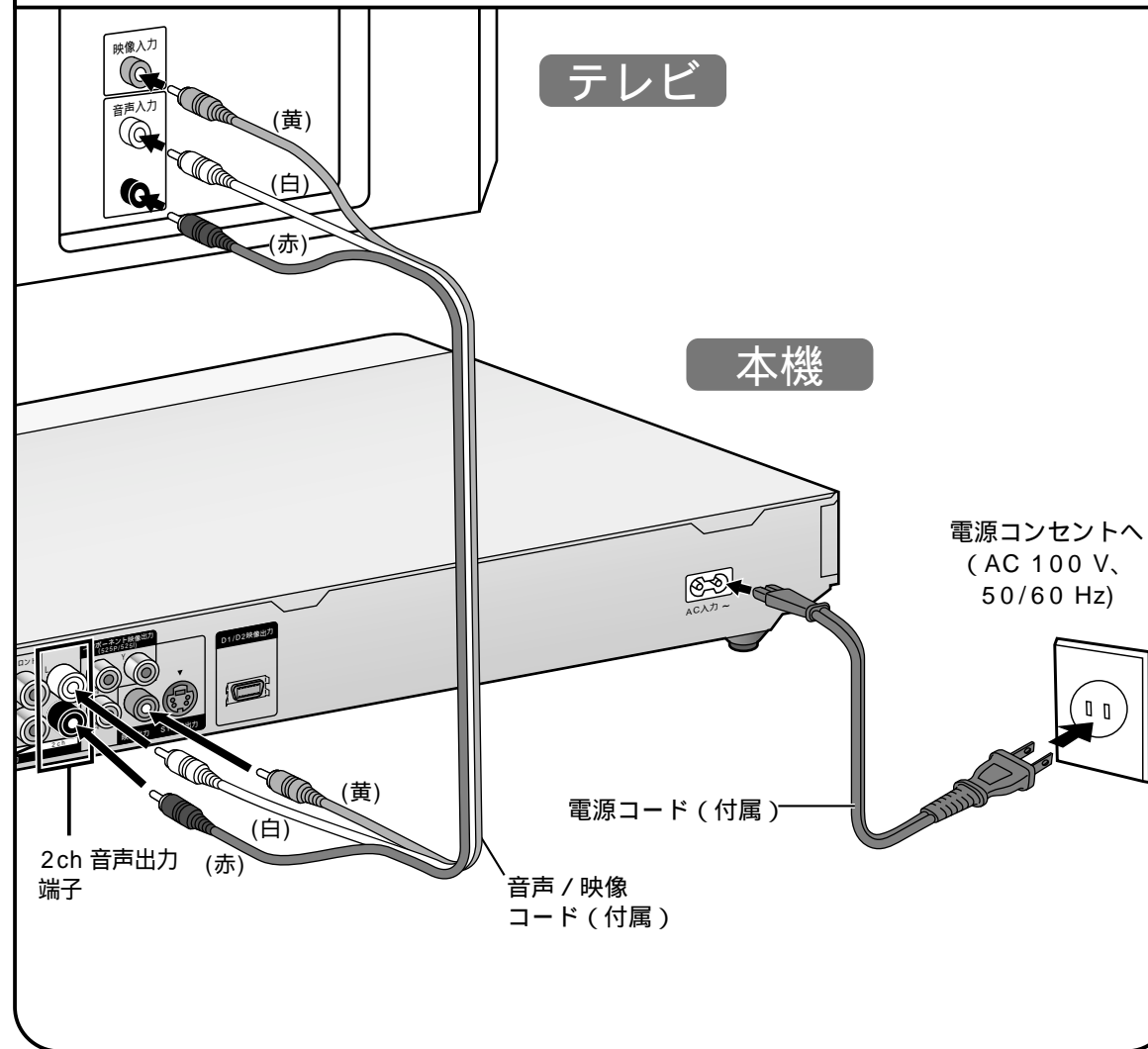
準備 2 3

テレビと接続

別売品については28ページをご参照ください。

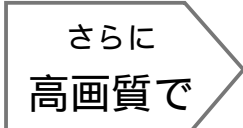
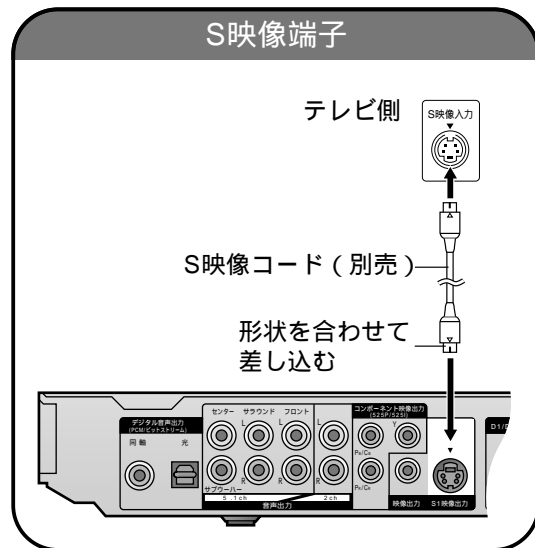
お願い

本機とテレビの電源を切ってください。またテレビの説明書もご参照ください。
本機をアンプなど高温になる機器の上に直接置かないでください。
本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
AVアンプなどと接続する場合は、その説明書に従ってください。

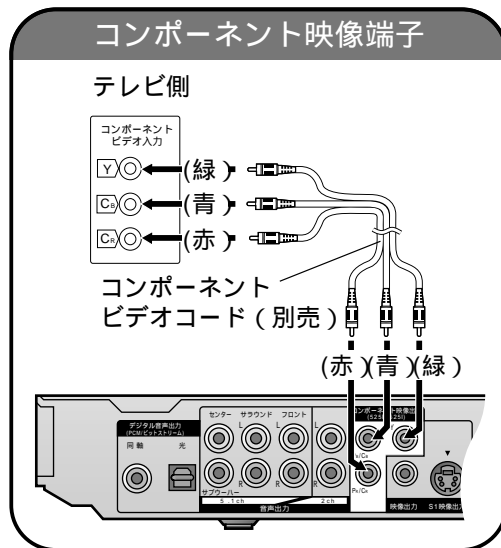
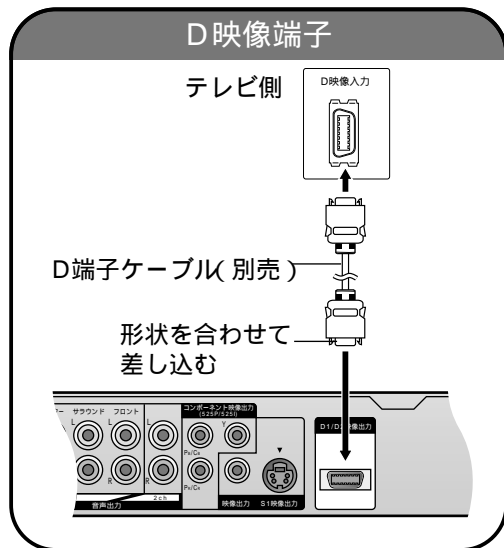


お願い

画面が乱れたり、映らないことがありますので、以下の端子には接続しないでください。
ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子
DVDのマクロピジョン社のコピーガードシステムに対応していないAVセレクターのビデオ入力端子
ビデオテープレコーダーやビデオ内蔵型テレビのビデオ入力端子



プログレッシブ映像を楽しむには、プログレッシブ対応テレビと、「D映像」端子または「コンポーネント映像」端子を使って接続してください。

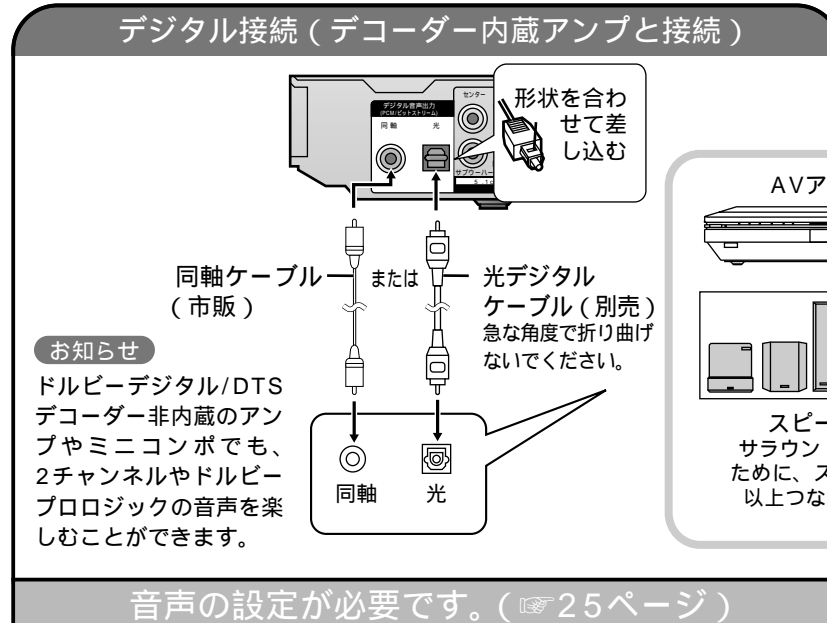


テレビのスピーカーで音声を聞く場合は、テレビ側の各端子専用の音声入力端子に音声コードを接続してください。

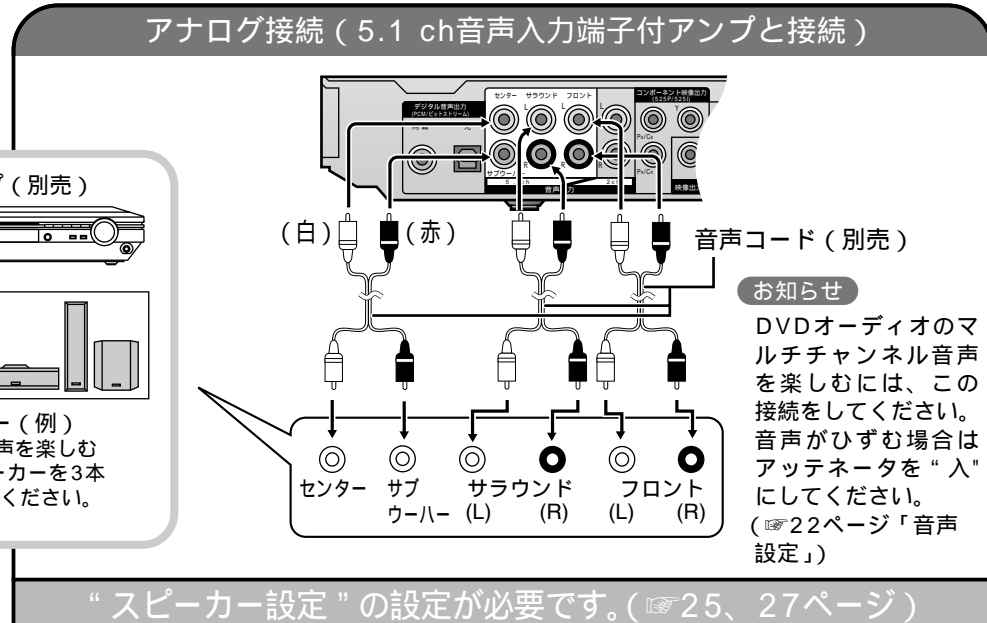


お知らせ

左図の音声コード (白 / 赤) を、アンプやミニコンポの2チャンネル音声入力端子と接続し、2チャンネルやドルビープロロジックの音声を楽しむこともできます。



音声の設定が必要です。(25ページ)



“スピーカー設定”の設定が必要です。(25、27ページ)

サブウーハーを接続しない場合は、フロントに100 Hz以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをおすすめします。
DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。

準備 3 テレビに合わせて設定

準備 テレビの電源を入れて、外部入力(「ビデオ1」など)に切り換える。

1 電源を入れる

2 初期設定画面を表示する

お買い上げ後初めて[初期設定]を押すと、基本的な設定を簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。カーソルボタン[▲、▼]と[決定]で

[する]を選ぶと画面上的ガイドに従って設定することができます。画面表示に従い、最後に[決定]を押してください。

[しない]を選んだ場合は、手順3に進んでください。「しない」を選んでも、再びガイドを表示させることができます。(26ページ「クイックセットアップ」)

3 [◀、▶]で“映像”を選ぶ

4 [▲、▼]で“TVアスペクト”を選び、[決定]を押す

5 [▲、▼]で内容を選び、[決定]を押す

- 標準(4:3)サイズのテレビ(16:9の映像の表示方法を選択)
- 4:3 パン&スキャン(お買い上げ時の設定)
 - 左右の切れた映像(パン&スキャン)
 - パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。
 - 4:3 レターボックス
 - 上下に帯のある映像(レターボックス)
- ワイドサイズのテレビ
- 16:9(必要に応じて、テレビ側の画面モードの設定も行ってください。)

6 手順4、5を繰り返し、“プログレッシブ出力”と“接続するTV”を設定する

“プログレッシブ出力”

- 不可(お買い上げ時の設定): プログレッシブ非対応テレビ
- 可能: プログレッシブ対応テレビ(28ページ)

“接続するTV”

- (モニターセクター機能(30ページ))
- 標準(ブラウン管テレビ)(お買い上げ時の設定)
- 3管式プロジェクター
- 液晶テレビ/プロジェクター
- プロジェクションテレビ
- プラズマテレビ

ひとつ前の画面に戻る

設定を終了する

プログレッシブ映像を楽しむ

準備 左記手順で“プログレッシブ出力”を“可能”にする。

- リモコン**
画面表示
くり返し押す
- 本機情報画面(22ページ)を表示する
- 画質設定
ビデオ出力モード
- “ビデオ出力モード”を選ぶ
インターレース映像 ↔ プログレッシブ映像

さらにお好みの画質で楽しむ(23ページ「画質設定」)

画面表示を消す
[リターン]を押す

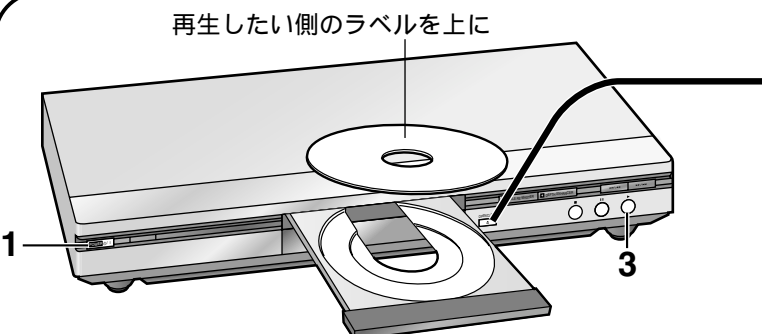
お知らせ

本機の映像出力端子またはS1映像出力端子でテレビと接続したときは、表示窓の“PROG.”点灯にかかわらず、インターレースで出力されます。

ディスクを再生

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG

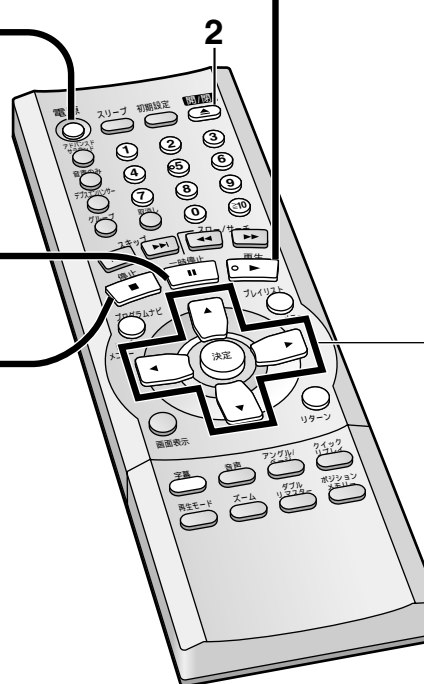
本書はリモコンでの操作を中心に説明しています。



再生したい側のラベルを上

1 トレーを開け、ディスクをおく
カートリッジ付ディスクは取り出してください。

2 再生を始める



1 電源を入れる
JPEGと音楽ファイル(WMA/MP3)を両方含むディスクのときは、ディスクを入れる前に、“混在ディスク音声&静止画”(26ページ)で再生するファイル形式を選択してください。

2 一時停止する
[](再生)で通常再生

3 停止する
表示窓の“▶”点滅中、[](再生)を押すと、止めた位置から再生(続き再生メモリ機能)
DVD-V
続けて[](再生)を押すと、各チャプターの冒頭を再生できます。(13ページ「あらすじリプレイ」)

メニュー画面が表示されたら

DVD-A DVD-V VCD

[▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[決定]を押す
数字ボタンで選ぶディスクもあります。
2ケタ番号の入力
例) 25 [10] [2] [5]

メニュー画面に戻す

DVD-A DVD-V [トップメニュー](最初のメニュー画面)
DVD-V [メニュー](メニュー画面)
VCD [リターン]

お願い
メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本体のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは[]を押して再生を停止してください。

WMA MP3 CD (テキスト)

画面の下部にトラック情報が表示されます。([字幕] ボタンで入/切できます。)

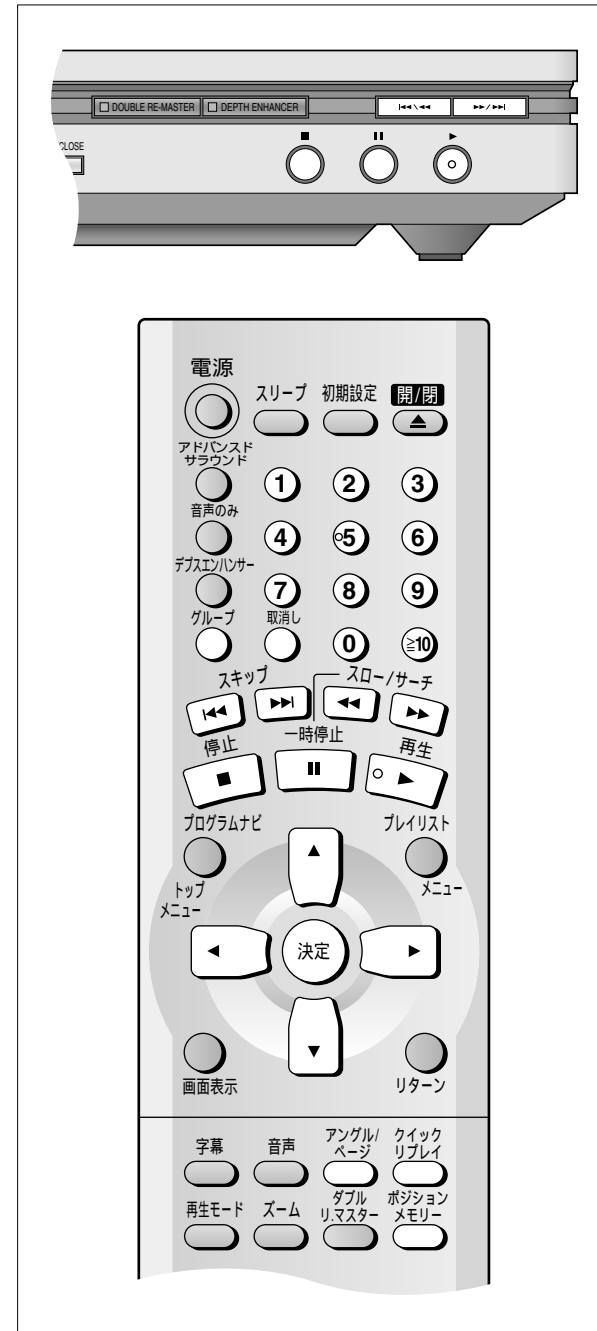
例) MP3/WMA
グループ: ミュージック集2001
トラック: 真夏の恋

トラック名 グループ名

メニュー再生を使うと、より便利に操作できます。(14ページ)

テレビに合わせて設定/ディスクを再生

ディスクを再生 (つづき)



番組・タイトル・曲を番号指定で再生

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG

2ケタ番号の入力
例) 25

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩

WMA MP3 JPEG

② ⑤ 決定

停止中でのみ動くディスクもあります。
DVD-A 必ずグループを選んでください。(P.13ページ)

スロー再生

RAM DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD

一時停止中

リモコン

スロー/サーチ

本体

押し続ける

5段階で速くなります。
[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。
VCD 戻り方向はできません。

早送り・早戻し (サーチ)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

再生中

リモコン

スロー/サーチ

本体

押し続ける

5段階で速くなります。
[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。
音声を消すこともできます。(P.25ページ「早送り時の音声」)

番組・場面・曲を飛びこす (スキップ)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG

再生中 / 一時停止中

リモコン

本体

スキップ

押した回数だけ飛びこします。



RAM
コマーシャルなどが録画されていると、そこにスキップすることがあります。
JPEG
[▲、▼] でグループを飛び越すことができます。

コマ送り・コマ戻し

RAM DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD

一時停止中

コマ送り

コマ戻し

押し続けると、連続してコマ送り / コマ戻しします。
[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。
[■] を押してもコマ送りできます。
VCD コマ戻しできません。

静止画を選ぶ (ページスキップ)

DVD-A (静止画付)

再生中

ページ

押したびにページが切り換わります。

ページ1

記憶させた位置から再生 (ポジションメモリー機能)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG

再生中

ポジションメモリー

位置を記憶しました

続けて押すと上書きされます

電源を切る、またはディスクを取り出す

電源を入れる、または位置を記憶したディスクを入れる

再生

前回記憶した位置から再生が始まります。
(この時点で記憶は消去されます。)

ディスク5枚分まで記憶できます。6枚目以降は、一番古い記憶から順に消去されます。
ディスクによっては記憶できない箇所もあります。

あらすじリプレイ DVD-V (同一タイトル内のみ)

右の画面表示中に [▶] (再生) を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。

再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります。

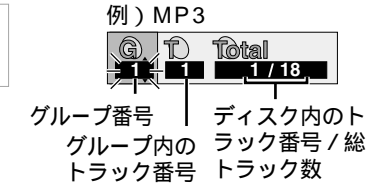
メモリー機能を解除する
表示窓の "▶" が消えるまで [■] を押す

グループを選んで再生

DVD-A WMA MP3 JPEG

1

グループ



2

グループ番号を選ぶ

3

トラック番号 / ピクチャー番号を選ぶ

数字ボタンでも番号を選べます。
再生状態によっては、番号を選べないこともあります。
DVD-A すべてのグループを再生する (P.19ページ)

ボーナスグループの再生 DVD-A

暗証番号の入力により再生可能になる「ボーナスグループ」を収録したディスク (ディスクのジャケットなどもご参照ください)

停止中、ボーナスグループを選ぶと (上記手順1、2) 暗証番号の入力画面が表示されます。

暗証番号を入力する: 数字ボタン → [決定] ([取消] で消すことができます。)

電源を切るかトレイを開けると、再び暗証番号の入力が必要になる場合があります。

画像を回転する

JPEG

1 再生中

アングル/ページ

右90°回転

左90°回転

2

回転方向を選ぶ

画面表示を消す
[アングル/ページ] を押す

見のがしたシーンをすぐ再生 (クイックリプレイ)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 :

同一番組 / タイトル / トラック内で、約7秒 ~ 10秒前に戻り、再生を続けます。

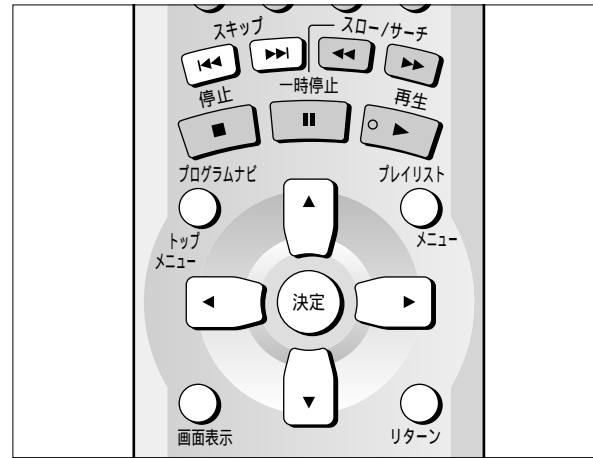
JPEG : 約5 ~ 6画像戻り、再生を続けます。

再生中

クイックリプレイ

ディスクまたは再生箇所によっては、戻る秒数 / 画像数が変わったり、機能が動かないこともあります。

メニュー画面を使って再生



WMA/MP3/CDテキスト / JPEGの再生

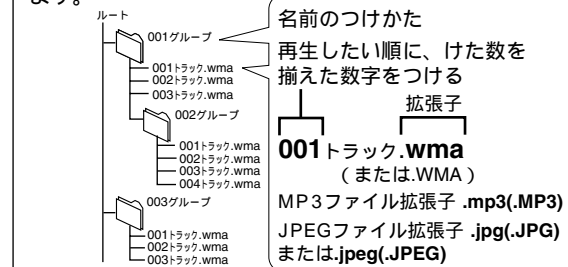
CD (CDテキストのみ) WMA MP3 JPEG

JPEGと音楽ファイル(WMA/MP3)を両方含むディスクのときは
 “混在ディスク 音声&静止画 (26ページ)”で再生するファイル形式を選択し、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください。

パソコン等でファイルを作るときは

WMA MP3 JPEG

パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名/ピクチャー名として表示します。



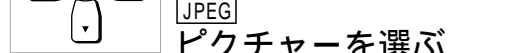
CD (CDテキストのみ)

市販のソフト等で作ったCDテキストは、タイトルの数字に関係なく作成したトラック順に再生します。(詳しくはソフト等の説明書をご参照ください。)

1 **メニュー画面を表示する**



2 **トラックを選ぶ**

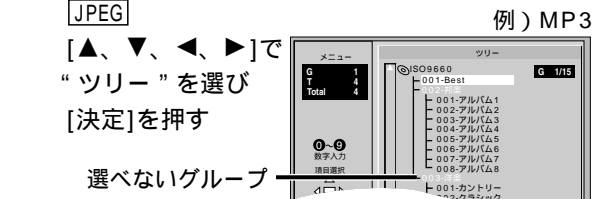


3 **ディスクの最後まで再生したあと、停止します。**

前後のページを表示する
 [▲、▼、◀、▶]で“前ページ”または“次ページ”を選んで[決定]を押す
 メニュー画面を消す
 [トップメニュー]を押す

ディスクの全体図(ツリー画面)を見てグループを選ぶ WMA MP3 JPEG

1 **メニュー画面表示中**
 WMA MP3
 トラックを選び、[▶](カーソルボタン)を押す
 JPEG
 “ツリー”を選び
 [決定]を押す



2 [▲、▼、◀、▶]でグループを選び[決定]を押す
 選ばれたグループのメニューが表示されます。

曲情報を見る CD (CDテキストのみ)

メニュー画面表示中
 トラックを選び、[▶](カーソルボタン)を押す



[◀、▶]で、他のトラックの曲情報が確認できます。
 [決定]を押すと再生されます。

タイトル名を検索して再生
 CD (CDテキストのみ) WMA MP3

ひらがな、カタカナ、英数字をローマ字入力力で検索します。(大/小文字は区別されません。)

例)「うた」を含む曲を検索する

1 **メニュー画面表示中**
 [▲、▼]で“検索”を選び[決定]を押す



2 [▲、▼]で“U”を選び[決定]を押す
 [▲]を押すたびに、A → B → ... → Z → 0 → 1 → ... → 9

(数字は数字ボタンでも入力できます。)
 [◀◀、▶▶]で「A、E、I、O、U」にスキップします。
 確定した文字を変更するには、[◀]を押し、文字を選び直します。
 続けて、“T”“A”と入力します。

3 [▶](カーソルボタン)で“検索”を選び、[決定]を押す
 検索結果が画面に表示されます。

4 [▲、▼]で曲を選び、[決定]を押す
 入力した文字で始まるタイトルを検索する
 手順1のあと、[◀]で“*”を消してから入力する
 ひとつ前の画面に戻る
 [リターン]を押す

本機での制限

使用できるフォーマット: ISO9660 level 1及びlevel 2 (拡張フォーマットを除く)
 マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
 8階層より深い階層にあるグループは、8階層目と同じ列に表示されます。
 表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は“_ (アンダーバー)”で表示されます。
 メニュー画面での表示順は、パソコンのディスプレイでの表示順と違うことがあります。
 ディスクの作り方によっては、順番通りに再生できないこともあります。

WMA
 著作権保護されたファイルは再生できません。
 再生できないファイルを選んだときは、表示窓に“TRACK PROTECTED”または“CANNOT PLAY THIS TRACK”と表示されます。

MP3
 静止画データの入ったMP3ファイルを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まってから正確に時間が表示されないことがあります。
 ID3タグには対応していません。

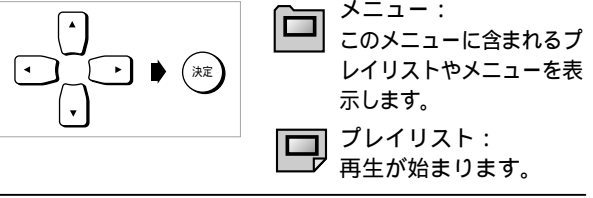
JPEG
 DCF (Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータを表示します。(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります。)
 パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
 MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画(TIFFなど)および音声付画像は再生できません。

Windows Media, Windowsロゴは米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。WMA(Windows Media™ Audio)とは米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。



HighMATディスクの再生

ディスクを入れるとメニュー画面が表示されます。



メニュー画面に戻る
 [トップメニュー]を押す
 ([リターン]を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。)
 ディスクに記録されたメニュー画面に切り換える
 メニュー画面表示中、[画面表示]を押す

■ リスト画面から選んで再生する
 1 再生中
 [メニュー]を押す



2 [◀]→[▲、▼]でプレイリスト/グループ/コンテンツのリストを切り換える
 3 [▶]→[▲、▼]で選び、[決定]を押す
 リスト画面を消す
 [メニュー]を押す

お知らせ
 HighMATディスクはプログラム/ランダム再生できません。プログラム/ランダム再生(26ページ)するときは、“HighMAT再生”(26ページ)で“しない”を選んだ後、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください。

HighMAT, HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

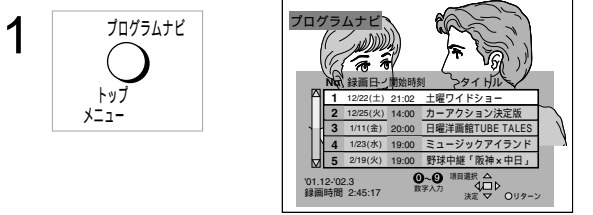


MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびTHOMSON multimediaからライセンスを受けています。

RAM CD (CDテキストのみ) WMA MP3 JPEG

RAMディスクの再生

RAM
 番組リストから選んで再生できます。(プログラムナビ再生)

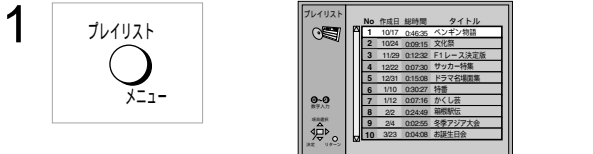


2 **番組を選ぶ**
 背景では、選んだ番組が再生されます。

3 **決定**

お好みのシーンを再生(プレイリスト再生)

お好みのシーンを集めたリストが再生できます。



2 **プレイリストを選ぶ**

3 **決定**

数字ボタンでも番組やプレイリストを選べます。
 2ケタ番号の入力
 例) 25 : (10) → (2) → (5)
 リスト画面を消す
 プログラムナビ再生: [プログラムナビ]を押す
 プレイリスト再生: [プレイリスト]を押す

お知らせ
 本機では、タイトルの入力/変更やプレイリストの作成はできません。
 表示窓に“S-PIC”と表示されたら静止画を再生しています。

映画や音楽をもっと楽しむ



音声切り換え

RAM DVD-A DVD-V VCD

(音声複数記録されているディスク)
再生中



DVD-V 音声属性 (下記) DVD-A 再生中の音声番号



音声言語 チャンネル 選んだ音声番号 (下記) (30ページ)

“—”表示：音声記録されていません。
カラオケディスクでは、ボーカルの入/切ができます。(詳しくはディスクのジャケットなどご参照ください。)
RAM DVD-A (静止画付トラックと音声のみのトラック) 音声切り換えると、曲の先頭に戻ります。
DVD-A 2つ目の音声がなくとも、通常は選んだ音声番号を2まで表示します。(再生中の音声番号は1のままです。)

音声属性

LPCM / PPCM / Digital / DTS / MPEG : 信号タイプ
k : サンプリング周波数 b : ビット数 ch : チャンネル数

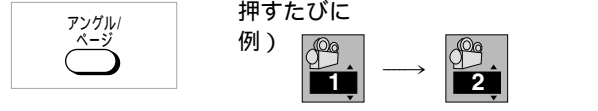
音声 / 字幕言語
日 : 日本語 伊 : イタリア語 露 : ロシア語
英 : 英語 西 : スペイン語 韓 : 韓国語
仏 : フランス語 蘭 : オランダ語 * : その他
独 : ドイツ語 中 : 中国語

音声 / 字幕 / アングル操作について
ディスクのメニュー画面でのみ切り換えができる場合もあります。(11ページ)
VCD (SVCDのみ)
複数の字幕や音声記録されていなくても、番号が切り換わります。
[リターン]を押すと、画面表示が消えます。

アングル切り換え

DVD-A (動画部のみ) DVD-V

(アングルが複数記録されているディスク)
再生中



字幕切り換え

DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD (SVCDのみ) :
(字幕が複数記録されているディスク)

字幕の変更と入/切ができます
RAM : 字幕の入/切ができます

再生中



“——”表示：字幕が記録されていません。
字幕の表示まで少し時間がかかることがあります。

字幕を入/切する

- [▶] (カーソルボタン) を押す (DVD-A DVD-V VCD)
- [▲、▼] で “入” “切” を選ぶ

字幕位置 / 明るさの調節

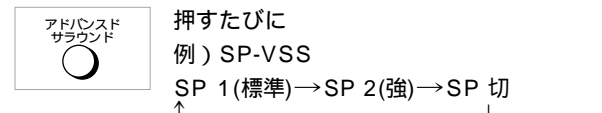
- 字幕アイコン表示中、[◀、▶] で “字幕位置移動” / “字幕明るさ” をハイライトさせる
- [▲、▼] で調節する
字幕位置移動 (0 ~ -60) : 2段階ずつ調節
字幕明るさ (オート / 0 ~ 9)
画面の明るさに応じて自動的に調節

2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ (アドバンスドサラウンド VSS)

RAM DVD-V VCD (2ch以上のディスク)

音に広がりを与え、フロントスピーカー (SP-VSS) やヘッドホン (HP-VSS) だけでサラウンド効果を楽しめます。(HP-VSSを楽しむときは、ヘッドホン端子付の機器に接続してください。) サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

準備 接続した機器のサラウンド機能を「切」にする



SP-VSS/HP-VSSを切り換える

- [◀] を押し、“SP” または “HP” を選ぶ
- [▲、▼] で切り換える

効果的な視聴位置
テレビのスピーカーを使う場合
テレビの横幅=距離A
スピーカー 距離A
テレビ 距離Aの3~4倍
視聴位置

お知らせ

音声ひずむ場合、「切」にしてください。
「入」時は、スピーカーを3本以上つないでいても、2チャンネルで出力されます。
ドルビープロロジックを楽しむときは、正しいサラウンド効果を得るために「切」にしてください。

より純粋な高音質で聴く (オーディオオンリー)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

映像信号の出力を止め、音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

再生中



より自然な音質で聴く (ダブルリマスター)

RAM DVD-A DVD-V CD

(LPCM 2ch 44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスク) ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質が楽しめます。

WMA MP3

(44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスク) 圧縮時に失われた周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

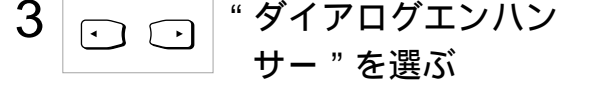
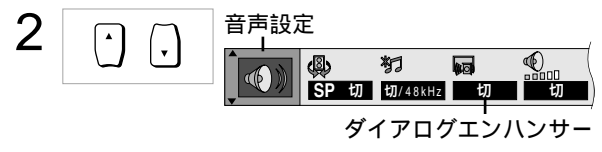
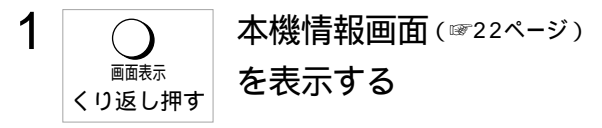


設定	RAM DVD-A DVD-V CD	WMA MP3
	音源に適した設定を選択	効果の強弱を選択
1	テンポの速い曲 (ポップス・ロックなど)	弱
2	さまざまなテンポの曲 (ジャズなど)	中
3	テンポの遅い曲 (クラシックなど)	強
切	切	切

デジタル接続時は、“PCMデジタル出力”の設定により表示通りに効果が働かない場合があります。(25ページ)

映画のセリフを聞き取りやすくする (ダイアログエンハンサー)

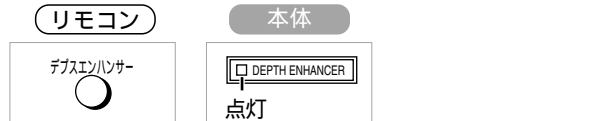
DVD-V (センターチャンネルにセリフが入っているディスク)



映像に奥行き感を出す (デプスエンハンサー)

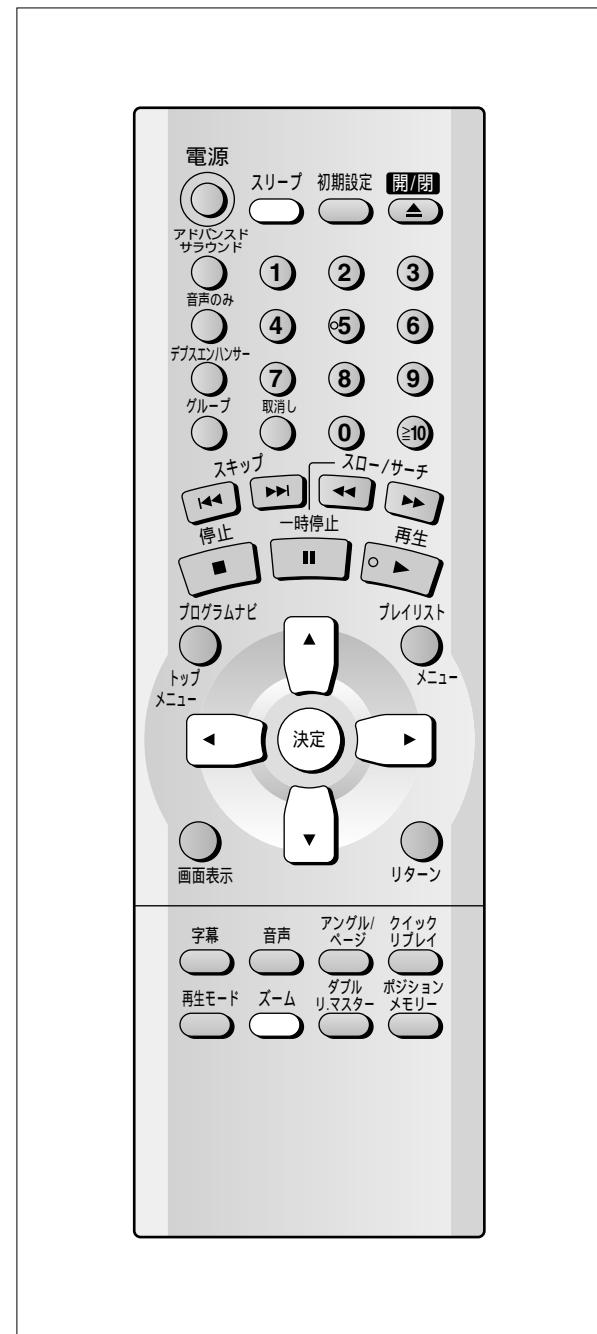
RAM DVD-A DVD-V VCD JPEG

主に背景部分に現れるノイズを除去することで、奥行き感のある映像を楽しめます。



押すたびに
0 → +1 → +2 → +3 → +4

シネマ画質 (C1またはC2) のときには働きません。(23ページ「画質設定」)



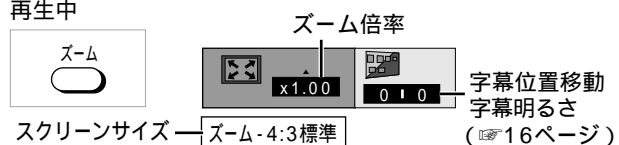
映像を拡大する(ズーム)

RAM DVD-A(動画部のみ)DVD-V VCD

いろいろな横縦比の映像を拡大して、お使いのテレビ画面サイズに近づけます。

準備 “初期設定”の“TVアスペクト”をテレビに合わせて設定する。(P10ページ)

再生中

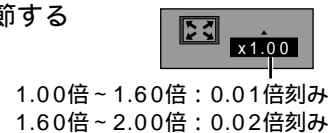


押すたびに

4:3 標準 → ヨーロピアンピスタ → 16:9 標準
↑ ↓
シネマスコop2 ← シネマスコop1 ← アメリカンピスタ

ズーム倍率を微調節する

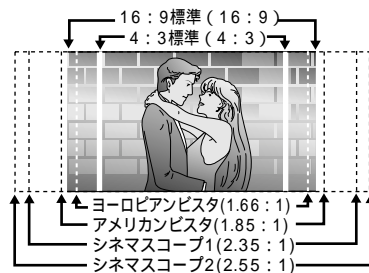
ズームアイコン表示中 [▲、▼]を押す



次の場合はズーム倍率が“x1.00”になります。
メニュー画面表示中(“x1.00”にならない場合もあります)
電源を切るかトレイを開けたとき

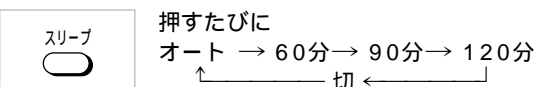
スクリーンサイズ(横縦比)

映画にはいろいろな横縦比のものがあります。



指定時間に電源を切る(スリープ)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG



再生終了(DVDのメニュー画面表示も含む)5分後に電源が切れます

ディスクによっては動かないものもあります。
ボタン操作で停止やメニュー画面を表示したときは働きません。

残り時間を確かめる

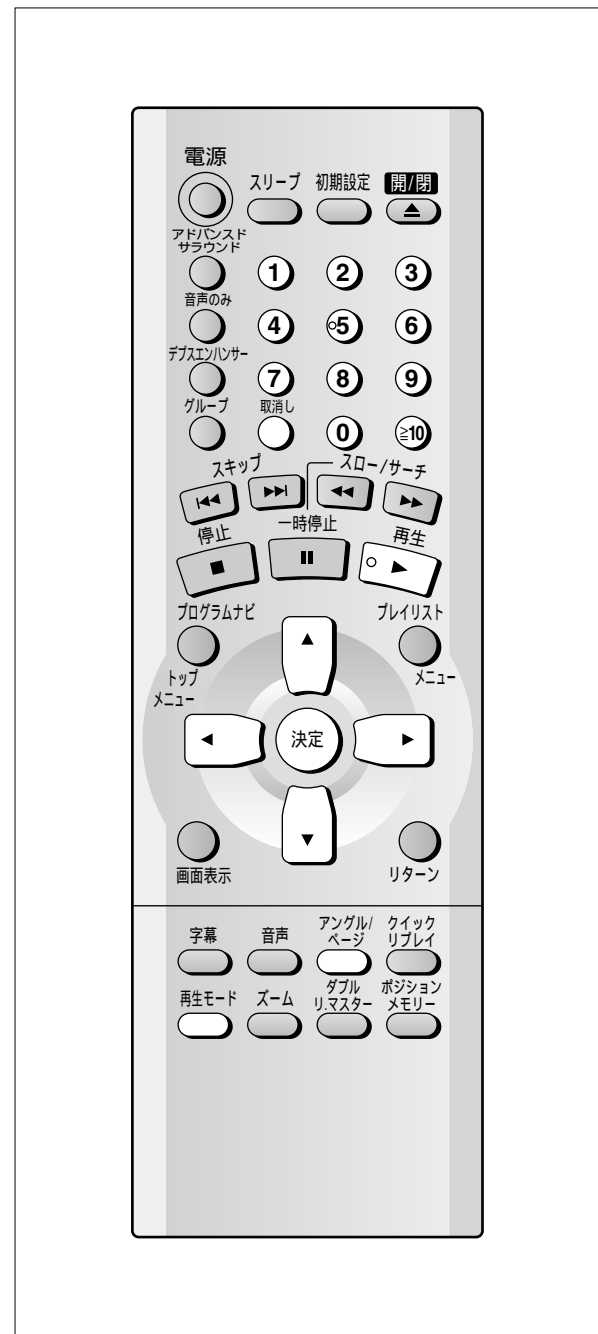
[スリープ]を1回押す

お知らせ

スリープの設定をしても、停止状態で30分経過すると電源が切れます。(オートパワーオフ)

節電のために

電源を切った状態(スタンバイ状態)でも、約0.6Wの電力を消費しています。長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。



DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

準備 停止中

再生モード 再生の種類を切り換える

押すたびに

A オールグループ(DVD-A) → B プログラム → C ランダム

お知らせ

DVD-A プログラム/ランダム画面でボーナスグループを選んだときは、暗証番号(4ケタ)を入力してください。(P13ページ)
DVD-V プログラム/ランダム再生できないものもあります。

A すべてのグループを順に再生(オールグループ再生) DVD-A

[▶](再生)を押す

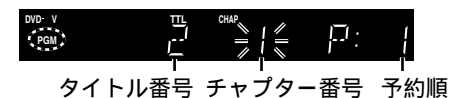
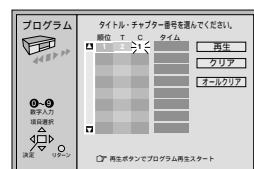
B 好みの順に再生(プログラム再生)

(最大32トラック)

1 DVD-A DVD-V WMA MP3

数字ボタンでグループまたはタイトルを選ぶ

例) DVDビデオ



2ケタ番号の入力
例) 12 [10] [▶] [1] [▶] [2]
(WMA MP3 : [10] 不要)

2 数字ボタンでトラックまたはチャプターを選ぶ

WMA MP3

選んだ後、[決定]を押す
2ケタ番号入力: [10] 不要
続けて選ぶときは、手順1、2を繰り返してください。
DVD-V WMA MP3 タイムは表示されません。

3 [▶](再生)を押す

カーソルボタンで選ぶ

[決定]を押して[▲、▼]で選び、[決定]で確定する
“ALL”を選ぶと全曲(ディスクまたはタイトル、グループ内の全曲)が予約できます。

予約を変更する

1 [▲、▼]で変更したい項目を選ぶ
2 追加: 上記手順1、2をくり返す
取消し: [取消]を押す([▲、▼、◀、▶]で“クリア”を選び、[決定]を押しても取り消せません)

予約画面の次のページを表示する

[アングル/ページ]を押す

予約を全て取り消す

[▲、▼、◀、▶]で“オールクリア”を選び[決定]を押す
予約内容は電源を切るかトレイを開けると取り消されます。

C 順不同に再生(ランダム再生)

1 DVD-A DVD-V

例) DVDビデオ

数字ボタンでグループまたはタイトルを選ぶ

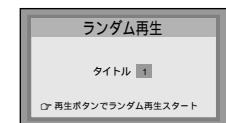
DVD-A

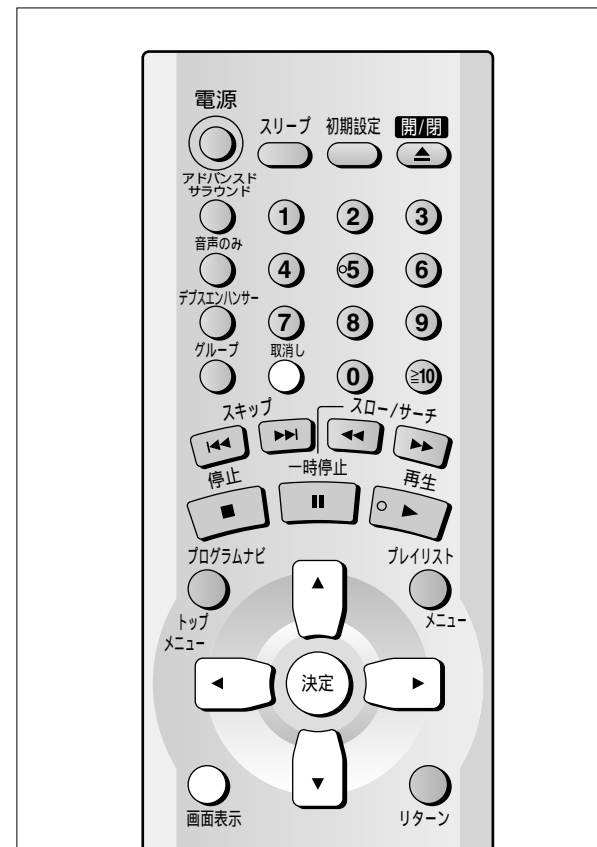
複数のグループが選べます。

すべてのグループを選ぶには

[◀、▶]で“オール”を選び[決定]を押す
選んだグループを取り消すには
数字ボタンで取り消すグループの番号を押す

2 [▶](再生)を押す





準備
再生中

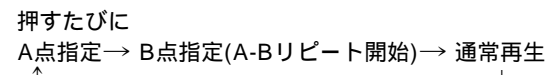
- 1 画面表示
くり返し押し
- 2 再生設定

A A-Bリピート **B** リピートモード **C** マーカー

A 好みの2点間を繰り返し再生（A-Bリピート再生）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3
同一番組/タイトル/トラック内で、お好みの2点間を繰り返し再生します。

- 1 [◀、▶]で“ A-Bリピート ”を選ぶ
- 2 始点（A点）/終点（B点）を指定したいところで [決定]を押す



B点指定前に再生が終わると、その終点がB点になります。
[クイックリプレイ]を押すと、解除されます。

B 繰り返し再生（リピート再生）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG

- 1 [◀、▶]で“ リピートモード ”を選ぶ
- 2 [▲、▼]でリピート内容を選ぶ

RAM PG（番組）/A（ディスク全体）/切
プレイリスト再生（☞15ページ）時：
S（シーン）/PL（プレイリスト）/切

DVD-V C（チャプター）/T（タイトル）/切
DVD-A WMA MP3 T（トラック）/G（グループ）/切
VCD CD T（トラック）/A（ディスク全体）/切

JPEG G（グループ）/切

オールグループ/プログラム/ランダム再生時は“ A ”と表示されます。

HighMATディスクでは、“ C ”（コンテンツ）/“ G ”（グループ）が表示されます。

DVDビデオ、WMA、MP3のディスク全体、およびDVD-RAMの全プレイリストの繰り返し再生は選べません。

好みのトラック/チャプターを繰り返し再生
トラック/チャプターをプログラム再生（☞19ページ）中に“ A ”を選ぶ

C 好みの位置を記憶（マーカー）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG

再び再生したいところにマークを付けておくことができます。（最大5カ所）

RAM 最大999カ所（DVDビデオレコーダーなどで付けたマーカーも表示します）

- 1 [◀、▶]で“ マーカー ”を選び、 [決定]を押す

RAM 続けて[▶]で“ * ”を選ぶ

- 2 再び再生したいところで [決定]を押し、マークを付ける

マークを呼び出す : [◀、▶] [決定]
マークを取消す : [◀、▶] [取消し]
他にマークを付ける : [◀、▶] マークを付けたいところで[決定]

RAM 11個以上マークを付ける

1 [◀、▶]でマーカーピンアイコンをハイライトさせる

2 [▲、▼]で“ 11 20 ”を選ぶ
10個マークが付いてから次の10番台が選べます。

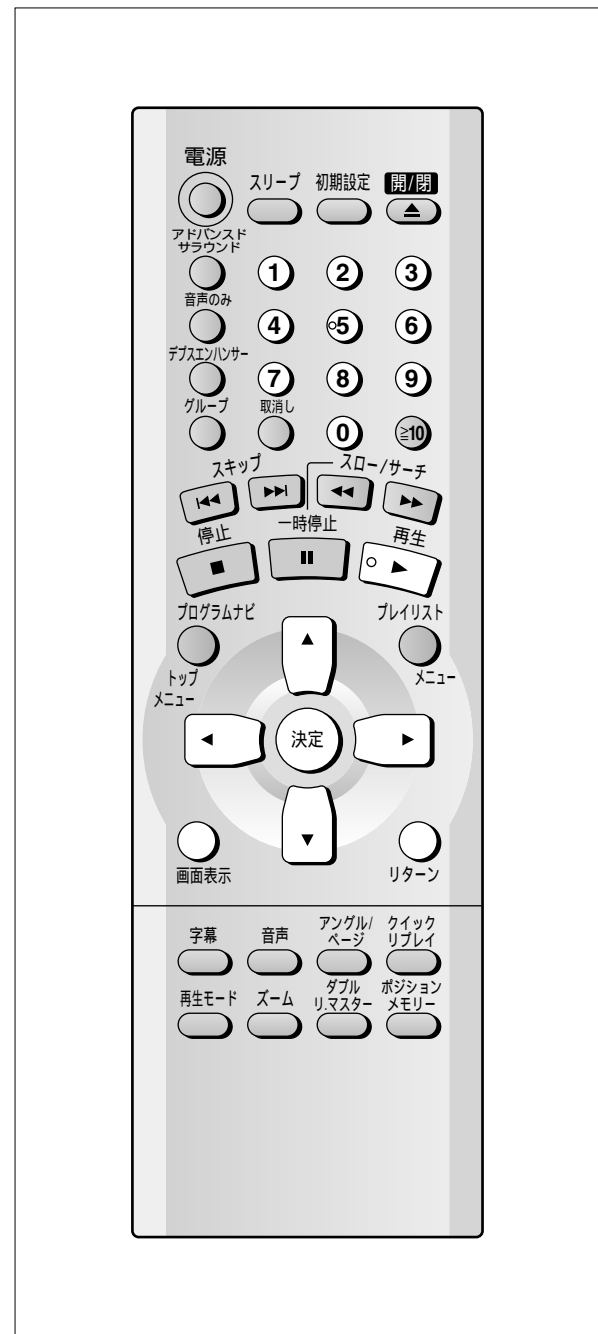
お知らせ
本機で付けたマーカーは、電源を切るかトレイを開けると、取り消されます。

RAM
プレイリスト再生時は、働きません。

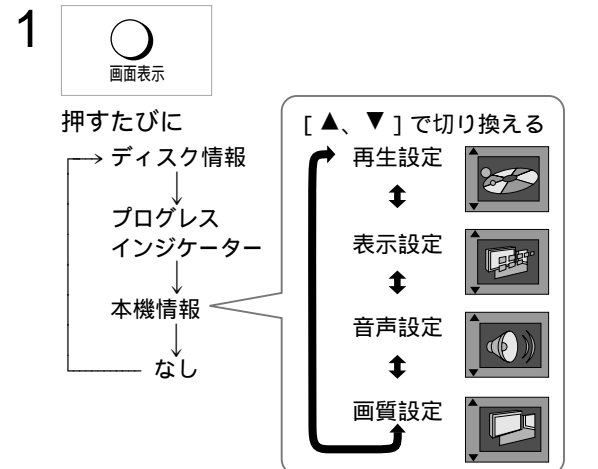
マーカー番号はディスクの時間経過順に並び替わります。追加や取消しをすると、付けたときの番号と呼び出したときの番号が異なることがあります。

DVDビデオレコーダーなどでRAMディスクに記録したマーカーも、取消することができます。ただし、電源を切るかトレイを開けると、再び表示されます。

絵表示（GUI画面）を使って操作



ジー・ユー・アイ グラフィカル・ユーザ・インターフェース
G U I (Graphical User Interface) とは「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機ではこの画面を「GUI画面」と呼びます。



- 2 変更したい項目を選ぶ

- 3 好みの設定を選ぶ

数字ボタン [決定]で変更できるものもあります。
例) 25 : [2] [5] [決定]

■ GUI画面の位置を移動させる
[◀、▶]で一番右のアイコンを選び、
[▲、▼]で切り換える（5段階）

■ 画面表示を消す
GUI画面が消えるまで、[リターン]を押す

プログレスインジケータ

現在どの部分を再生しているかを表します。再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

C（チャプター）DVD-V
T（トラック）DVD-A WMA MP3
P（ピクチャー）JPEG



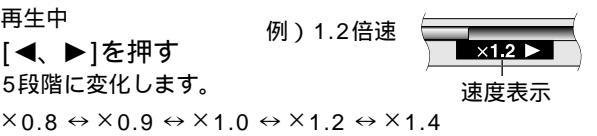
PG（プログラム）RAM
PL（プレイリスト）RAM
T（タイトル）DVD-V
T（トラック）VCD CD
G（グループ）DVD-A WMA MP3 JPEG

番組/プレイリスト/タイトル/トラック
経過時間 ← 残り時間

[▲、▼]で切り換える
[WMA MP3 VCD (SVCDのみ)は経過時間のみ]

再生速度を微調節する DVD-A(動画部のみ) DVD-V

(ドルビーデジタルのディスク)
映画のセリフなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに使います。



[▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。
速度変換モード中は
- 2チャンネル出力になります。（速度表示がオレンジ色の間は2チャンネルで出力されます。）
- アドバンスサラウンドは働きません。
- デジタル出力が“ PCM ”に切り換わります。
ディスクによっては働かない箇所があります。

絵表示 (GUI画面) を使って操作 (つづき)

ディスク情報

① PG: プログラム番号 **RAM**
 PL: プレイリスト番号 **RAM**
 G: グループ番号 **DVD-A** **WMA** **MP3** **JPEG**
 T: タイトル番号 **DVD-V**
 トラック番号 **VCD** **CD**

② T: グループ内のトラック番号 **DVD-A** **WMA** **MP3**
 C: チャプター番号 **DVD-V**
 P: グループ内のピクチャー番号 **JPEG**

③ 時間指定再生 **RAM** **DVD-A** **DVD-V**
 例) 1時間46分50秒から再生
 [1] [4] [6] [5] [0] [決定]

時間表示
RAM **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **CD**
 [WMA] **MP3** **VCD** (SVCDのみ)は経過時間のみ表示]

④ 音声番号 **RAM** **DVD-A** **DVD-V** (16ページ)

⑤ 現在のビットレート (kbps)
 現在のサンプリング周波数 (kHz)
WMA **MP3**

⑥ 音声モード **RAM** **VCD** (16ページ)

⑦ カラオケボーカル入/切 (カラオケ **DVD-V** のみ)
 デュエットディスクで「V1」か「V2」を選ぶと、ひとりでもデュエットできます。

⑧ 字幕番号 **DVD-A** (動画部のみ) **DVD-V** **VCD** (SVCDのみ)
 字幕入/切 **RAM** **DVD-A** (動画部のみ) **DVD-V** **VCD** (SVCDのみ)
 (16ページ)
 トラック情報入/切 **CD** (CDテキストのみ) **WMA** **MP3**
 画像情報「日付」「詳細」「切」 **JPEG**

⑨ アングル番号 **DVD-A** (動画部のみ) **DVD-V** (16ページ)

⑩ トータルトラック番号 **WMA** **MP3**
 トータルピクチャー番号 **JPEG**
 再生・選択中のトラックまたはピクチャー番号/ディスク内の総トラックまたはピクチャー数を表示

⑪ メニュー再生の入/切状態表示 (PBC付 **VCD** のみ) 変更不可

⑫ 静止画番号 **DVD-A** (12ページ)
 Page 1に戻る:
 [◀▶]で「Return」を選ぶ [決定]

⑬ スライドショー入/切 **JPEG**
 スライドショー表示間隔 0~30秒 **JPEG**
 スライドショー状態表示 **DVD-A** 変更不可

本機情報

再生設定

① A-Bリピート再生 (20ページ)
RAM **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **CD** [決定]
WMA **MP3**

② リピート再生 (20ページ)
RAM **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **CD** [▲、▼]
WMA **MP3** **JPEG**

③ 再生モード **DVD-A** **DVD-V** **VCD**
CD **WMA** **MP3** 変更不可
 --- : 通常 PGM: プログラム
 RND: ランダム
 ALL: オールグループ **DVD-A**

④ マーカー **RAM** **DVD-A** **DVD-V** **VCD** 20ページ
CD **WMA** **MP3** **JPEG**

音声設定

① アドバンスドサラウンド (VSS) (17ページ) **RAM** **DVD-V** **VCD**

② ダブルリマスター (17ページ) **RAM** **DVD-A** **DVD-V** **CD** **WMA** **MP3**

③ ダイアログエンハンサー (17ページ) **DVD-V** [▲、▼]

④ アッテネータ **RAM** **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **CD** **WMA** **MP3**
 音声が入る場合「入」を選ぶ

表示設定

① 4:3 アスペクト **RAM** **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **JPEG**
 16:9プログレッシブテレビへの4:3映像の表示のしかたを選ぶ。
 ノーマル: テレビの画面幅いっぱい引き延ばす
 オート: 通常は「シュリンク」に、レターボックスの映像は「ズーム」に、自動的に切り換える
 シュリンク: テレビ画面中央に4:3の画面比にして映す
 ズーム: 4:3の画面比で拡大する

② ズーム (18ページ) **RAM** **DVD-A** (動画部のみ) **DVD-V** **VCD**
 ズーム倍率を微調節する

③ 字幕位置移動/字幕明るさ (16ページ) **DVD-A** **DVD-V** [▲、▼]

④ ビットレート表示「入」「切」 **RAM** **DVD-A** (動画部のみ) **DVD-V** **VCD**
 映像の種類 (30ページ「I/P/B」)とビットレートの目安を表示する
 ビットレート表示を切り換える
 動画再生時: 再生画像の平均ビットレート
 静止時: 映像の種類とフレームのデータ量
 9.438 Mbps ↔ 現在のビットレート (Cur. 7.507 Mbps) / サンプル期間中の平均ビットレート (Ave. 6.730 Mbps) / 5.0 Mbps

⑤ OSD明るさ (-3 ~ +3) 画面表示の明るさを調節 [▲、▼]

画質設定

① 画質モード **RAM** **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **JPEG**
 N: 通常画質
 S: ソフト (ざらつきの少ない柔らかな画質)
 F: ファイン (輪郭の強調されたくっきりした画質)
 C1: シネマ1 (映画館で見ているようなしっとり感)
 C2: シネマ2 (昔の映画などをくっきり)
 U1/U2/U3: ユーザー画質 (右記)

② ビデオ出力モード (10ページ) **RAM** **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **JPEG** [▲、▼]
 525I: インターレース映像
 525P: プログレッシブ映像
 (“PROG.”表示点灯)

③ 「ビデオ出力モード」で「525P」を選んだときのみ
 変換モード **RAM** **DVD-A** **DVD-V** **VCD**
 プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける
 オート1(標準): 映画再生
 オート2: オート1の変換方法に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応
 ビデオ: ビデオ素材

ユーザー画質

1 [▲、▼]でユーザー画質モードを選ぶ
 2 [▶]で数字をハイライトさせる
 3 [▲、▼]で「1」~「3」を選ぶ

U1 — MPEG D.N.R.(デジタル・ノイズ・リダクション)

④ デプスエンハンサー(0 ~ +4)(17ページ)
 ⑤ 3次元NR(0 ~ +4)/ドットNR(ON)
 画面全体のノイズを除去/色と色の境界にみられるドット状のノイズを軽減 [▲、▼]
 ⑥ ブロックNR(0 ~ +3)
 動画にみられるモザイク状のノイズを除去
 ⑦ モスキートNR(0 ~ +3)
 周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなノイズを除去

U2 — ユーザー画質調整機能

⑧ コントラスト(-7 ~ +7)
 白黒の強弱
 ⑨ 明るさ(0 ~ +15)
 画面全体の明るさ
 ⑩ シャープネス(-7 ~ +7)
 水平方向の鮮鋭度(解像感) [▲、▼]
 ⑪ カラー(-7 ~ +7)
 色の濃さ
 ⑫ ガンマ(0 ~ +5)
 暗い部分の明るさ

U3

①~③: 左記

初期設定を変更

日本語のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

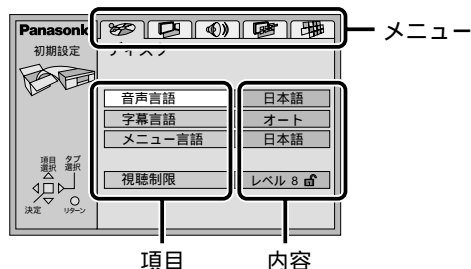


設定は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。

- 1 初期設定
- 2 メニューを選ぶ
- 3 項目を選ぶ
- 4 内容を選ぶ

ひとつ前の画面に戻る
[リターン]を押す

設定を終了する
[初期設定]を押す



ディスク

音声言語
言語（音声）の選択
日本語 英語 オリジナル¹ その他*****²

字幕言語
言語（字幕）の選択
オート³ 日本語 英語 その他*****²

メニュー言語
メニューなど、テレビ画面に表示される言語の選択
日本語 英語 その他*****²

視聴制限
お子さまなどに見せたくないDVDビデオの視聴を制限。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

レベル8 : すべてのディスクが再生可
レベル7～1 : 制限レベルの記録されているディスクが再生不可
レベル0 : すべてのディスクが再生不可
レベル0から7を選ぶ、または選んだあと再び「視聴制限」を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されます。

暗証番号の入力方法

- 1 数字ボタンで4ケタの数字を入力する
[取消し]を押すと、数字を取り消すことができます。
- 2 [決定]を押す
- 3 暗証番号を確認し、[決定]を押す
暗証番号は忘れないでください。
視聴制限を超えるDVDを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

- 1 “オリジナル”：ディスクの最優先言語が選ばれます。
- 2 “その他*****”：数字ボタンで言語番号を入力します。（26ページ）
- 3 “オート”：“音声言語”で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

映像

TVアスペクト
テレビサイズに合った画面表示方法の選択（10ページ）
4：3 パン&スキャン
4：3 レターボックス
16：9

プログレッシブ出力（10ページ）
不可：プログレッシブ非対応テレビ
可能：プログレッシブ対応テレビ

接続するTV
接続したテレビの種類に合わせて設定（10ページ）
標準(ブラウン管テレビ)
3管式プロジェクター
液晶テレビ/プロジェクター
プロジェクションテレビ
プラズマテレビ

スチルモード
一時停止時の画像表示方法の選択
オート フィールド フレーム

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



フレームスチルのときは、画質は良くなりますが、2枚のフィールドの間でブレが生じることがあります。フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

音声

デジタル：デジタル接続時（9ページ）に設定
アナログ：アナログ接続時（8、9ページ）に設定

スピーカー設定 **アナログ**
スピーカーの出力設定により、理想的な音空間をつくる

マルチチャンネル
スピーカーを3本以上接続
スピーカーの有無やサイズ、ディレイタイム、出力バランスの設定をしてください。（27ページ）
2チャンネル
スピーカーを2本接続、またはドルビープロロジックデコーダーに接続

PCM デジタル出力 **デジタル** **アナログ**
デジタル出力の入/切とサンプリング周波数の上限を設定。
接続機器が対応しているデジタル入力周波数に合わせて選んでください。

切：アナログ接続時
最高 48kHz：48 kHzまたは44.1 kHzまで対応
最高 96kHz：96 kHzまたは88.2 kHzまで対応
最高 192kHz：192 kHzまたは176.4 kHzまで対応

以下の場合は設定にかかわらず48 kHzまたは44.1 kHzに変換します。
サンプリング周波数が、選んだ設定をこえるとき
ディスクが著作権保護されているとき
96 kHzに対応している接続機器でも、88.2 kHzに対応していないことがあります。（詳細は接続機器の取扱説明書をご参照ください。）

Dolby Digital **デジタル**
接続機器がデコーダー内蔵かどうかに応じて、信号の出力状態を設定

Bitstream：デコーダー内蔵
PCM：デコーダーなし

DTS Digital Surround **デジタル**
DTS信号に対して「Dolby Digital」と同様の設定
PCM：デコーダーなし
Bitstream：デコーダー内蔵

音声のダイナミックレンジ圧縮 **デジタル** **アナログ**
（ドルビーデジタルのみ）
小音量でもセリフを聞き取りやすくする
切 入

早送り時の音声 **デジタル** **アナログ**
早送り時の音声のあり/なしを選択
あり なし

DVD-A 「なし」にしても音声聞こえるものがあります。

画面表示

画面メニュー言語

初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語の選択

日本語 English (英語)

画面メッセージ

操作時の表示をテレビ画面に表示する / しないの選択

FLディマー

本体表示窓の明るさを調節

- 明 ● 暗
- オート : 再生中は暗くなり、サーチや一時停止中などは一時的に明るくなる

その他

HighMAT再生

HighMAT方式で記録したディスクの再生方法が選べます。(設定を切り換えた後、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください。)

- する : HighMATディスクとして再生
- しない : WMA/MP3/JPEGディスクとして再生

混在ディスク 音声 & 静止画

[JPEGと音楽ファイル(WMA/MP3)を両方含むディスク]再生するファイル形式が選べます。(設定を切り換えた後、ディスクトレイを開閉してディスクを読み込んでください。)

- 音声(MP3/WMA)
- 静止画(JPEG)

DVDビデオモード

(DVDビデオとして再生できるDVDオーディオディスク) DVDオーディオに収録された映像の再生方法の選択 (電源を切るかトレイを開けると「しない」に戻ります。)

- しない : ディスクをDVDオーディオとして再生
- する : ディスクをDVDビデオとして再生

デモモード

テレビ画面上でのデモンストレーション表示 (いずれかのボタンを押すと停止し「しない」に戻ります。)

- しない ● する

クイックセットアップ

本機の基本的な設定を、画面上での対話形式で行う

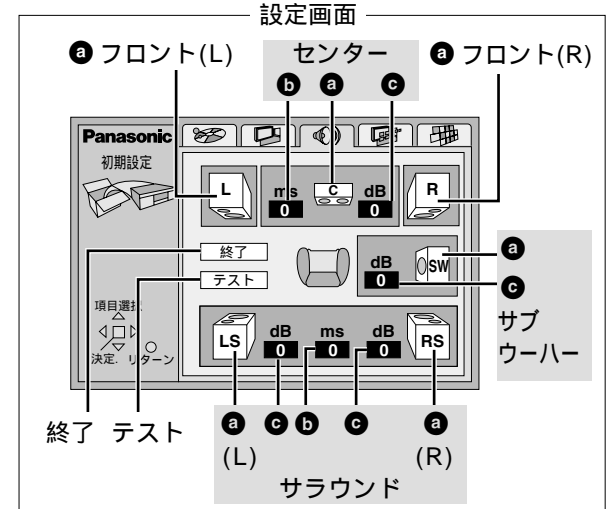
- する ● しない
- 以下の設定を行います。
画面メニュー言語 / 音声言語 / 字幕言語 / 接続するTV / TVアスペクト / プログレッシブ出力 / スピーカー設定 / PCMデジタル出力

言語番号一覧表

アイスランド : 7383	グルジア : 7565	バシキール : 6665
アイマラ : 6588	ケチュア : 8185	バスク : 6985
アイルランド : 7165	ゲール : 8083	バシウト : 8083
アゼルバイジャン : 6590	(スコットランド)	パンジャブ : 8065
アッサム : 6583	コーサ : 8872	ヒンディー : 7273
アフアル : 6565	コルシカ : 6779	ビハール : 6672
アフリカーンス : 6570	サモア : 8377	ビルマ : 7789
: 6570	サンスクリット	フィンジー : 7074
アプハジア : 6566	: 8365	フィンランド : 7073
アムハラ : 6577	ショナ : 8378	フェロー : 7079
アラビア : 6582	シンド : 8368	フランス : 7082
アルバニア : 8381	シンハラ : 8373	フリジア : 7089
アルメニア : 7289	ジャワ : 7487	ブータン : 6890
イタリア : 7384	スウェーデン : 8386	ブルガリア : 6671
イディッシュ : 7473	スロバキア : 8375	ブルターニュ : 6682
インターリングア : 7365	スロベニア : 8376	ヘブライ : 7387
: 7365	スワヒリ : 8387	ベトナム : 8673
インドネシア : 7378	スナダ : 8385	ベロルシア(白ロシア) : 6669
ウェールズ : 6789	スペイン : 6983	ベンガル(バン格拉) : 6678
ウオロフ : 8779	ズルー : 9085	マオリ : 7773
ヴォラビュック : 8679	セルビア : 8382	マケドニア : 7775
: 8679	セルボクロアチア	マライ(マレー) : 7783
ウクライナ : 8575	: 8372	: 7783
ウズベク : 8590	ソマリ : 8379	マラッタ : 7782
ウルドゥー : 8582	タイ : 8472	マラヤラム : 7776
英語 : 6978	タタール : 8484	マルタ : 7784
エストニア : 6984	タミル : 8465	マダガスカル : 7771
エスペラント : 6979	タガログ : 8476	モルダビア : 7779
オーリヤ : 7982	タジク : 8471	モンゴル : 7778
オランダ : 7876	チェコ : 6783	ヨルバ : 8979
カザフ : 7575	中国語 : 9072	ラオ : 7679
カシミール : 7583	チベット : 6679	ラテン : 7665
カタロニア : 6765	ティグリニア : 8473	ラトビア(レット) : 7686
ガリチア : 7176	テルグ : 8469	リトアニア : 7684
韓国(朝鮮)語 : 7579	デンマーク : 6865	リンガラ : 7678
: 7579	トウイ : 8487	ルーマニア : 8279
カンナダ : 7578	トルクメン : 8475	レトロマンス : 8277
カンボジア : 7577	トルコ : 8482	ロシア : 8285
キルギス : 7589	トンガ : 8479	: 8285
ギリシャ : 6976	ドイツ : 6869	: 8285
クルド : 7585	ナウル : 7865	: 8285
クロアチア : 7282	日本語 : 7465	: 8285
グアラニー : 7178	ネパール : 7869	: 8285
グジャラト : 7185	ノルウェー : 7879	: 8285
グリーンランド : 7576	ハウサ : 7265	: 8285
: 7576	ハンガリー : 7285	: 8285

スピーカー設定 (設定方法と内容 24~25ページ)

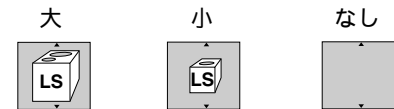
初期設定で“マルチチャンネル”(スピーカーを3本以上接続)を選んだとき、接続したスピーカーに応じて、以下の**①②③**の設定が必要になります。



スピーカーの有無とサイズ (①)

- 1 [▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[決定]を押す
- 2 [▲、▼]で内容を変更し、[決定]を押す

サラウンド(L)の場合の表示例



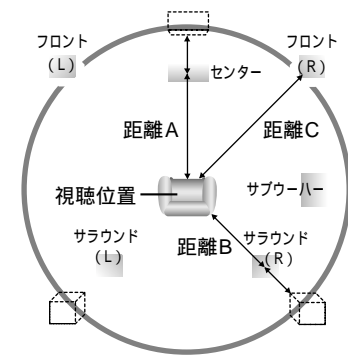
スピーカーが100 Hz以下を再生できるとき : 大
再生できないとき : 小

サブウーハーを「なし」にすると、フロントスピーカーは自動的に「大」になります。(この場合、100 Hz以下の低音を再生できるフロントスピーカーを接続することをおすすめします。)

ディレイタイム (②)

マルチチャンネルで記録されたディスク

5.1ch音声を楽しむには、すべてのスピーカー(サブウーハーは除く)を下記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え、仮想的に理想の視聴位置を実現します。



- 1 [▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[決定]を押す
- 2 [▲、▼]で内容を変更し、[決定]を押す

設定値
距離A/距離B ≧ 距離C : 0 ms
距離A/距離B < 距離C : 下記の設定を行う

<センター>		<サラウンド>	
距離(AとC)の差	設定値	距離(BとC)の差	設定値
約 50 cm	1.3 ms	約 200 cm	5.3 ms
約 100 cm	2.6 ms	約 400 cm	10.6 ms
約 150 cm	3.9 ms	約 600 cm	15.9 ms
約 200 cm	5.3 ms		

出力バランス (③)

各スピーカーの音量レベルが異なる時調節します。

- 1 [▲、▼、◀、▶]で“テスト”を選び、[決定]を押す
「ザ-」というテスト音が以下の順でスピーカーから出力されます。
フロント(L) → センター → フロント(R)
↑
サラウンド(L) ← サラウンド(R)

- 2 [▲、▼]でセンター/サラウンドスピーカー(L/R)の音量を調節する(-6 dB ~ +6 dB) フロントスピーカーと同じ音量で聞こえるように調節します。

フロントスピーカーの音量調節はできません。サブウーハーからはテスト音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

- 3 [決定]を押す
テスト音が止まります。

DVD-A

再生時、ディスクの制約により設定通りに音が出ないことがあります。(本体表示窓で“D.MIX”が消灯状態になります。)

設定を終了する

[▲、▼、◀、▶]で“終了”を選び、[決定]を押す

お手入れ・使用上のお願い

お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
アルコールやシンナーは使わないでください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お知らせ

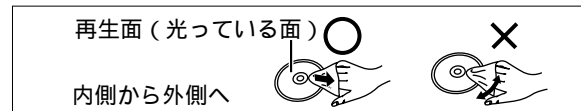
使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

ディスクについて

汚れたときは

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCD、CD
水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

推奨品：クリーニングクロス（品番 VUA7091）
（サービスルート扱い）



DVD-RAM、DVD-R

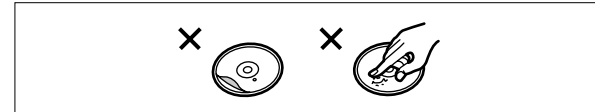
必ず専用のDVD-RAM/PDディスククリーナーLF-K200DCJ1（別売）RFKZ0093（サービスルート扱い）でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。DVD-RAM、DVD-Rは、専用のクリーナー（上記）でふいてください。

取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
再生面には手を触れない。
鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
紙やシール、ラベルを貼らない。
シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。（☞下図）



ラベル面をプリンターで印刷できるタイプのディスクを使う場合は、当社製のものをお使いください。（当社製以外のディスクを使うと、機器の故障の原因になることがあります。）
ハート型など、特殊形状のディスクは使わない。

保管

次のような場所に置かないでください。
直射日光の当たる場所
湿気やほこりの多い場所
暖房器具の熱が直接当たる場所

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。
著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

プログレッシブ対応テレビ一覧

2003年4月現在当社製テレビのみ（品番にはすべてTH-がつきます。）

テレビタイプ	品番 (TH-)		
BSデジタル	36DH200	36DH100	36D100
ハイビジョン	36D30	36D20	36D10
	32D100	32D30	32D20
	32D10	28D30	28D20
	28D10		
ハイビジョン	36FH10	36FH1	36HG1
	32FH10	32FH1	32HG1
	28HW3	28HW2	
プログレッシブ ワイド	36FP50	36FP30	36FP25
	36FP10	36FP20	36FP15
	32FP50	32FP30	32FP25
	32FP20	32FP15	32FP10
	32FS10	28FP50	28FP30
	28FP25	28FP20	28FP15
プログレッシブ	28FS10	32FY10	28FY10
	33FP2	29FP5	29FP3
DVDビデオ内蔵 ワイド液晶	15DT2	15DTX1	15LV1
ワイド液晶	22LT1	15LT1	32LX10
	22LH10		
4:3液晶	20TA3	17TA3	14TA3
プラズマ ディスプレイ	50PXS10	42PXS10	50PX10
	42PX10	50PH50	50PH3
	42PD2	37PD10	37PD2
	42PM2	37PM2	42PM50
	42PM30	42PM20	37PM50
	37PM20	42PAS10	37PAS10
リア プロジェクター	48FH10	47FP10	
液晶 プロジェクター	AE300	AE200	AE100

他社の対応テレビについては、該当メーカーに、「DVDプログレッシブ出力のコピーガードシステム（マクロビジョン方式）に対応している525P映像入力端子が付いているか」をご確認ください。

別売品のご紹介

2003年4月現在のもので、品番は変更されることがあります。

コード/ケーブル（品番にはすべてRP-がつきます。）

名称	品番 (RP-)	
S映像コード	CVS0G10 (1.0 m)	CVS0G30 (3.0 m)
	CVS0G20 (2.0 m)	CVS0G50 (5.0 m)
コンポーネント ビデオコード	CVPCG10 (1.0 m)	CVPCG50 (5.0 m)
	CVPCG20 (2.0 m)	
D端子ケーブル	CVDG15 (1.5 m)	CVDG30 (3.0 m)
D端子 ピンケーブル	CVCDG15 (1.5 m)	CVCDG30 (3.0 m)
音声コード	CAP3G05 (0.5 m)	CAP3G30 (3.0 m)
	CAP3G10 (1.0 m)	CAP3G50 (5.0 m)
	CAP3G15 (1.5 m)	CAP3G100 (10.0 m)
	CAP3G20 (2.0 m)	
光デジタル ケーブル	CA2005A (0.5 m)	CA2020A (2.0 m)
	CA2010A (1.0 m)	CA2030A (3.0 m)

MDなどに録音

■ デジタル録音

デジタル信号でMDなどに録音できます。
光デジタルケーブル（別売）や同軸ケーブル（市販）で録音機器と直接接続してください。（☞9ページ）

以下の設定をしてください。

–“PCMデジタル出力”（☞25ページ）：“最高 48kHz”
–“Dolby Digital”（☞25ページ）：“PCM”
–“DTS Digital Surround”（☞25ページ）：“PCM”
–“アドバンスサラウンドVSS”（☞17ページ）：“切”

DVDを録音する

ディスクがデジタル録音を禁止していない、また、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。
WMA、MP3は録音できません。

■ アナログ録音

アナログ信号に変換された音声をカセットテープやMDに録音できます。（デジタル録音のような制約はありません。）
録音機器と以下のいずれかの接続をしてください。

本機の2ch音声出力端子と録音機器とを接続する（☞8ページ）

本機のフロント L/R音声出力端子（5.1ch）と録音機器とを接続し（☞9ページ）、初期設定の“スピーカー設定”を“2チャンネル”に設定する（☞25ページ）

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしてもらえない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ	
電源について	電源が入らない	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	8
	勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートパワーオフ)再度電源を入れ直してください。	—
		スリープ機能が設定されています。	18
操作について	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	—
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。	—
	リモコンが働かない	乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
	[▶](再生)を押しても、再生が始まらない(または、すぐに停止する)	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1~2時間放置してください。	—
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	表紙、2
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	29
		ディスクを正しく置いてください。	11
		記録済みのディスクが入っているか確認してください。	—
	初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。	24	
プログラム/ランダム再生ができない	プログラム/ランダム再生できないDVDビデオもあります。	—	

Q & A (よくあるご質問)

Q (質問)	A (回答)	参照ページ	
接続/設置について	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か	本機にはドルビーデジタル/DTSデコーダーが内蔵されていますので、AVアンプ(5.1ch音声入力端子付)と3本以上のスピーカーを準備すれば、マルチチャンネル音声をお楽しみになれます。	9
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、DVD対応のコンポーネント映像端子に接続することをお勧めします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ端子には接続しないでください。	8、9
	S映像端子、コンポーネントビデオ端子、D映像端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか	D映像端子またはコンポーネント映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態での信号を出力するため、S映像端子に接続する場合より、さらに忠実に色を再現します。	9
	引っ越ししても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	—
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	—
使いかたについて	海外で買ったDVDビデオは再生できるか	リージョン番号が「2」を含むか「ALL」で、映像方式がNTSCであれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	表紙
	映像方式がPALのディスクは再生できるか	DVDオーディオの静止画部のみ再生できます。	2
	リージョン番号がないDVDビデオディスクは再生できるか	リージョン番号がないディスクは再生できないことがあります。	—
	CD-Gは再生できるか	再生できません。	—
	ビデオで録画できるか	ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。	—

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2ch)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

P.PCM (パケットPCM)

ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

ビットストリーム Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによってマルチチャンネル音声にデコード(復号)されます。

フィルム素材/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- フィルム素材
フィルムのイメージが24コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています。)最近では30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像も登場しつつあります。
- ビデオ素材
映像情報が30コマ/秒で記録されているもの。

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

モニターセレクター

接続する映像出力機器に合わせて、プレーヤー側で最適画質を設定します。

LPCM (リニアPCM)

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

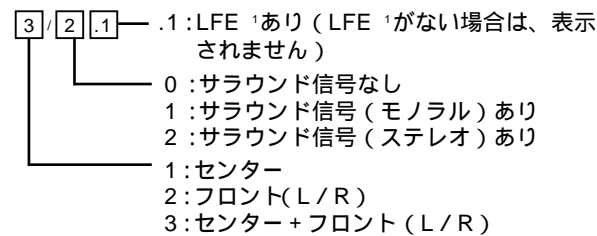
Windows Media™ Audio (WMA)

米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

チャンネル (ch)

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。例) 5.1チャンネル

- フロント [L (1ch) / R (1ch)]
 - センター (1ch)
 - サラウンド [L (1ch) / R (1ch)]
 - LFE 1 [1ch x 0.1² = 0.1ch]
- GUI画面では以下のように示されます。



- ロー フリクエンシー エフェクト
1 Low Frequency Effectsの略。低域強調チャンネルのこと。
- 2 低音のみの出力なので1chに対し0.1chと表現

Digital Theater Systems (DTS)

多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

D1/D2映像出力

S映像よりもさらに鮮明な、コンポーネント映像と同等の映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力(525P)にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる(Y/P_B/P_R, Y/B-Y/R-Y, Y/C_B/C_Rなど)場合がありますので、そちらの説明書をご覧ください。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

I/P/B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータを画面ごとに記録しています。

I-picture: 共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture: 過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム

B-picture: I/P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-pictureで一時停止することをおすすめします。

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号(NTSC)は525I(I: インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P: プログレッシブ=順次走査)といいます。

S映像出力

映像信号をカラー(C)信号と輝度(Y)信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

MP3 (MPEG Audio Layer 3)

元の音質をあまり損なうことなく音声を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。

コンポーネント映像出力端子

S映像よりもさらに鮮明な映像(D端子出力映像と同等)を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力(525P)にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる(Y/P_B/P_R, Y/B-Y/R-Y, Y/C_B/C_Rなど)場合がありますので、そちらの説明書をご覧ください。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

故障かな!? (つづき)

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
操作について アンクルを変えて見ることができない	複数のアンクルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	—
音声 / 字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	—
	本機の [音声] [字幕] ボタンでは切り換えできないディスクでも、ディスクのメニュー画面等で切り換えできる場合があります。	—
字幕が出ない	字幕の入っていないディスクでは字幕が表示されません。	—
	字幕が “ 切 ” になっている場合は、字幕を “ 入 ” にしてください。	16
	A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	—
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	以下の操作で初期設定の内容をお買い上げ時に戻してください。	—
すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻したい	1 停止中、本体の [■] と [◀◀ / ▶▶] を押しながら、テレビ画面の “ オールクリア ” が消えるまで、本体の [▲、OPEN/CLOSE] を押す 2 本体の電源を “ 切 ” “ 入 ” する	—

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声について 音が出ない (または音がおかしい)	接続した機器の音量を確認してください。	—
	接続、設定を確認してください。	8、9、25、27
	接続した機器の入力切り換えは正しいですか?	—
	音声がひずむ場合は、アドバンスサラウンドを “ 切 ” にしてください。	17
	GUIの音声設定でアッテネータを “ 入 ” にしてください。	22
	3本以上のスピーカーをつないでいるときは、アドバンスサラウンドを “ 切 ” にしてください。	17
	オーディオオンリーが働いている時は、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。	17
	速度変換モード中は2チャンネル出力になります。	21
	再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。	21
	マルチチャンネルのDVDオーディオディスクで、本体表示窓の “ D. MIX ” 表示が消灯するときは、 — ディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。ディスクのジャケットなどもご覧ください。 — デジタル接続時にフロントスピーカーからしか音が出ません。	— 9
WMAの再生中に雑音が生じることがあります。	—	
音声効果が働かない	速度変換モード中はアドバンスサラウンドが動きません。	21
	アドバンスサラウンドとダイアログエンハンサーはBitstream信号には動きません。	25
	ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。	—
耳を刺激するような音が出る	他の機器とデジタル接続しているときは、 “ Dolby Digital ” や “ DTS Digital Surround ” を正しく設定してください。	25

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ	
映像について 早送り / 早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れることがありますが、故障ではありません。	—	
	テレビに映像が映らない (または画面サイズがおかしい)	接続を確認してください。 テレビの電源は入っていますか? テレビの入力切替は正しいですか? “ TVアスペクト ” は正しく設定されていますか? テレビ側の画面モードを変更してください。 ズーム機能で調節してください。 “ 4:3アスペクト ” で表示サイズを調整してください。ただし、PAL方式のDVDオーディオでは動きません。	8、9 — — 10 — 18 23 9
	プログレッシブ出力 (525P) 時、映像の一部が二重にぶれて見える	ビデオ出力モードを “ 525i ” (インターレース出力) にしてください。映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。	10
	画質がよくないまたは色がおかしい	GUIの画質設定で画質を調節してください。ただし、PAL方式のDVDオーディオでは “ U1 ” の設定は動きません。	23
	字幕の位置がおかしい	字幕位置の調節をしてください。	16
	メニュー画面が正しく表示されない	ズーム倍率を “ ×1.00 ” にしてください。	18
		字幕位置を “ 0 ” にしてください。 “ 4:3アスペクト ” を “ ノーマル ” にしてください。	16 23

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
画面表示について “ GXX PXX の画像ファイルは表示できません ” “ ディスクを確認してください ” “ プログレッシブ出力が不可になっています ” 画面メッセージが出ない GUI画面が欠ける (または表示されない)	本機で表示できない画像ファイルです。	15
	ディスクがよごれています。	29
	プログレッシブ出力をするには、プログレッシブ対応テレビと接続し、初期設定 “ プログレッシブ出力 ” を “ 可能 ” に設定してください。	10
	“ 画面メッセージ ” を “ 入 ” にしてください。	26
表示窓 “ NO PLAY ” “ H ” (は数字) “ NO DISC ”	再生できないディスクが入っています。	2
	“ 視聴制限 ” を設定したディスクが入っています。 番組が記録されていないディスクが入っています。	24 —
	異常が発生しました。(“ H ” 以降の数字は、本機の状態によって変わります。) 電源を一度、 “ 切 ” “ 入 ” してください。	—
	ディスクが入っていません。 ディスクが正しく入っていません。	— —

処置をされても表示が消えないときは
お買い上げの販売店またはお近くの 「 修理ご相談窓口 」 (35 ページ) に修理をご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。(例: “ H05 ” の場合 「 H05 」)

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
 などのご相談は・・・
 まず、お買い上げの販売店へ
 お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
 その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

使いかた・お買い物などのご相談	
ナショナル/パナソニック お客様ご相談センター	
365日 / 受付9時～20時	
電話	フリーダイヤル ☎ 0120-878-365 <small>携帯電話・PHSでのご利用は... 06-6907-1187</small>
FAX	フリーダイヤル ☎ 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan 外国人/海外仕様商品(ツーリスト商品他)等ご相談窓口 Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	

保証書(別添付)
 お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お
 買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読
 みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間
 当社は、DVD/CD プレーヤーの補修用性能部品を、
 製造打ち切り後8年保有しています。
 注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持す
 るために必要な部品です。

修理を依頼される時

31～33ページの表に従ってご確認のあと、直らな
 いときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの
 販売店へご連絡ください。

保証期間中は
 保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
 保証期間を過ぎているときは
 修理すれば使用できる製品については、ご希望によ
 り有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成さ
 れています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交
 換・調整・修理完了時の点検などの作業に
 かかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代
 です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場
 合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	DVD/CD プレーヤー
品番	DVD-S75
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

本機は一般家庭用として作られています。
 一般家庭用以外での使用(例えば飲食店などの営
 業用としての長時間使用など)により故障した場
 合は、保証期間内でも有料修理とさせていただきます
 ことがあります。

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル ☎ **0570-087-087**
(全国共通番号)

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。

北海道地区		中部地区		四国地区										
札幌 札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7 ☎(011)894-1251	旭川 旭川市2条通2丁目 左1号 ☎(0166)31-6151	帯広 帯広市西19条南1丁目 7-11 ☎(0155)33-8477	函館 函館市西桔梗589番地241 (函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631	石川 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	名古屋 名古屋瑞穂区塩入町 8-10 ☎(052)819-0225	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719	香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	徳島 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	高知 南国市阿豊町中島331-1 ☎(088)866-3142	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144			
東北地区		近畿地区		九州地区										
青森 青森市第二問屋町 3-7-10 ☎(017)739-9712	秋田 秋田市御所野湯本2丁目 1-2 ☎(018)826-1600	宮城 仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎(022)387-1117	山形 山形市流通センター 3丁目12-2 ☎(023)641-8100	滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	京都 京都市伏見区竹田中川原町 71-4 ☎(075)672-9636	福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	佐賀 佐賀市鍋島町大字 八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	宮崎 宮崎市本郷北方草葉 2099-2 ☎(0985)63-1213	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目 5-33 ☎(099)250-5657	
首都圏地区		中国地区		沖縄地区										
栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6011	東京 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	大阪 大阪市北区本庄西1丁目 1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町 3丁目2-6 ☎(078)272-6645	岡山 岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎(086)292-1162	広島 広島市西区南観音8丁目 13-20 ☎(082)295-5011	山口 山口市鑄銭司 字鑄銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050	大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	宮崎 宮崎市本郷北方草葉 2099-2 ☎(0985)63-1213	大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめ
 ご了承ください。

0103